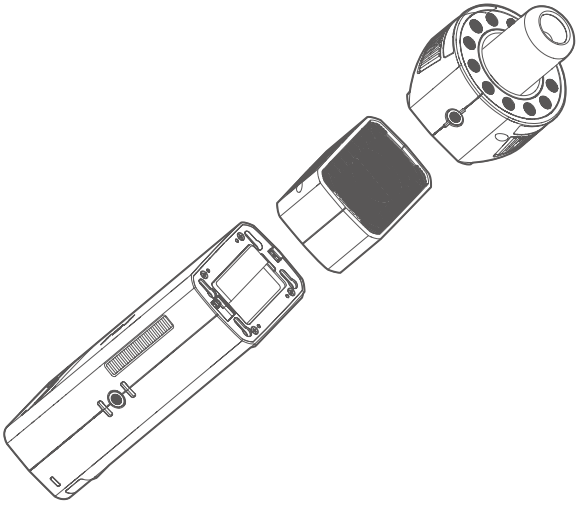
Godox



AD200ProII

ポケットフラッシュライト
Taschenlampe

取扱い説明書
Benutzerhandbuch

安全上のご注意

重要な安全上のご注意

本製品は専門的な撮影装置であり、専門者によって操作する必要があります。使用する際に遵守すべき基本安全対策: 使用前に製品の運送保護材と梱包材をすべて除去してください。

1. 製品を使用する前に、取扱い説明書をよく読んで完全に理解し、説明書の安全提示に厳密に従って操作してください。そうしないと、死亡、重大な傷害、製品の損傷、その他の財産損失を招く恐れがあります。
2. フラッシュライト動作時に高電圧が発生し、電源を切ったとしても、設備内部のコンデンサにはしばらく電気が残留します。
3. これはプロの照明器具であり、子供の使用は禁止されています。子供が近くにいる場合、親または保護者は、子供が照明器具にぶつかったり、使用したりすることによる人的傷害を避けるために、注意深く監視する必要があります。
4. この照明器具は通常の照明器具ではなく、一般照明には使用できません。目に損傷を受けている方や目が敏感な方は、この照明器具を使用しないでください。
5. 使用するときにはフラッシュランプなどの高温部に触れないでください。火傷の原因となります。
6. いかなる場合でも、フラッシュライトを直接人の目（特に赤ちゃんの目）に向けてはなりません。短時間で視力障害を引き起こす可能性があります。目に不快感があったら、直ちに照明器具を消し、使用を中止し、直ちに診察を受けてください。
7. フラッシュランプが破損した場合は、事故を避けるために直ちに使用を中止し、メーカー、サービス代理店、または有資格の保守担当者に連絡し、交換してください。
8. 破損した機器や機器の付属品を使用しないでください。また、専門の保守担当者が点検と修理を行い、機器が正常であることを確認してから使用してください。
9. ランプ、保護ガラス又はヒューズを交換する前に、電源を切るか、電池を取り外し（電池が入っている場合）、ランプと電源が完全に切断されていることを確認してください。ランプ交換前に 10 分間冷却させ、操作時に絶縁 / 又は断熱手袋を着用してください。
10. プラグを抜き差しする時は電源を切り、プラグを挿入する時は必ず完全に嵌め込んでいることを確認してください。
11. 使用中に落下、圧迫、または強い衝撃により製品のケースが破損した場合は、内部の電子部品との接触による感電と傷害を避けるため、使用を中止してください。
12. 一部の製品は電源ケーブルが長いので、熱源に接触したり、人につまずいたりしないように合理的に配置してください。オリジナル電源ケーブルを使用してください。オリジナル電源ケーブルの使用による破損は保証の対象外です。
13. 清掃と修理を行う前に、必ずコンセントから機器のプラグを抜いてください。電源ケーブルを引っ張って無理に引き抜かないでください、引き抜くときは、プラグの端部を両手でつかんでください。
14. この機器は防水機能を備えていません。水や他の液体の浸入を避けてください。換気が

良い乾燥場所に設置してください。雨天、高湿、ほこりの多い又は高温環境では使用しないでください。危険事故を防ぐため、設備の上に物を置いたり、液体を内部に流させたりしないでください。

15. 許可を得ることなく、この製品を勝手に分解しないでください。故障した場合は、当社または認定保守員に点検と修理を依頼してください。
16. 機器を保管する前に、完全に冷却されていることを確認し、電源ケーブルを抜いてから収納バッグ又は換気の良い場所に置いてください。
17. アルコール、ガソリンなど、可燃性や揮発性溶媒やメタン、エタンなどのガスの近くに置かないでください。
18. 爆発の危険がある環境での使用や保管は禁止されます。
19. 設備の放熱口は絶対に覆わないでください!
20. 当社が承認されていない部品を使用しないでください。火災、感電、人身傷害の原因になります。
21. 機器を清掃するときは、乾燥した柔らかい布でやさしく拭いてください。湿った布を使用してはいけません。そうしないと機器が破損する可能性があります。
22. 一部の製品には保護カバーを装備しています。使用する際には取り外してください。
23. 本取扱い説明書は、厳格な試験に基づいて作成され、設計及び仕様は、予告なく変更する場合があります。弊社の公式サイトにログインし、最新の電子版の使用説明、製品の最新情報をご覧ください。
24. 一部の製品にはリチウムイオン電池が内蔵しており、専用充電器を使用して充電し、正確な操作説明に従って、所定の電圧と温度範囲内で使用しなければなりません。
25. 一部の製品はリチウム電池電源を使用します。リチウムイオン電池の耐用年数は限られており、電力蓄積能力が不可逆的に徐々に失われます。電池が老化すると、製品の持続使用時間が減少します。リチウムイオン電池の耐用年数は 2~3 年と予測されます。定期的に電池の状態をチェックしてください。充電時間が大幅に長くなり、持続使用時間が顕著に減少したりした場合は、新しい電池の交換を検討してください。
26. 一部の製品にはリチウム電池を搭載しており、次のように貯蔵してください: 貯蔵する前に、約 50% の電力量まで充放電してください。少なくとも 6 ヶ月に 1 回約 50% の電力量まで充電してください。取り外し可能な電池は単独で保管してください。貯蔵温度は 0° C から 40° C の範囲内に制御してください。
27. 一部の製品はリチウム電池電源を使用しており、次の点に注意してください。
    - 電池を分解したり、押し付けたり、刺したりしないでください。
    - 電池の接点の短絡を避けてください。
    - 火の中又は水中で電池を処理しないでください。
    - 電池をお子様の手が届かない場所に置いてください。
    - 電池に強い衝撃や振動を与えないでください。
    - 破損した電池は使わないでください。
    - 漏れが発生した場合は、漏れた液体には接触しないでください。
    - 電池の液体が目に付着した場合、すぐに水で少なくとも 15 分間洗い流し、まぶたを

開けて液体の感覚がなくなってからすぐに診察を受けてください。

28. 電池を処理する前に、現地の関連法規法規を確認し、遵守してください。
29. 機器の保証期間は 1 年です。消耗品である電池、アダプター、電源ケーブル、およびその他の付属品は、保証の対象外です。
30. 自分で勝手に修理する場合は保証資格を取り消し、修理費用を請求します。
31. 不適切な操作による故障は、保証対象外です。

目次

前書き	05
製品特性	05
警告	06
部件名	07
梱包物	09
別途購入可能付属品	09
ランプ / 口金 / 電池の着脱	10
オン / オフ	13
ディスプレイ	13
電池説明	14
高速同期	15
M: 手動フラッシュ	16
Multi: ストロボフラッシュ	18
TTL: 自動フラッシュ	19
ワイヤレス (2.4G) 伝送	20
Godox2.4G ワイヤレスフラッシュ漏れの原因及び解決策	23
フラッシュモード	24
造形ライト	24
カスタム機能	25
同期ソケットトリガー	26
急速充電ポート	26
保護機能	26
仕様	28
ファームウェアアップデート	29
メンテナンス	29

前書き

Godox の製品をご購入いただき、ありがとうございます。
AD200ProII はワイヤレス TTL フラッシュライトであり、Godox2.4G ワイヤレス X システムを内蔵し、Godox の XPro、XProII、X2T、X3 シリーズフラッシュトリガーを使用して TTL/M/Multi を遠隔制御して AD200ProII のフラッシュをトリガーすることができます。また、マスター・スレーブ機能を使用して Godox のセットトップフラッシュ、外写フラッシュ、スタジオフラッシュと組み合わせて使用することもできます。

製品特徴

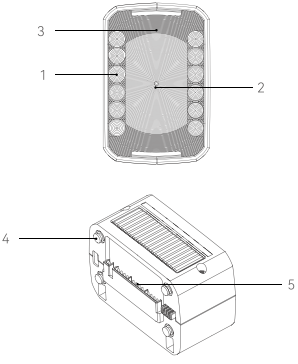
1. ワイヤレス TTL システムを利用できる：Godox2.4G ワイヤレス X システムを内蔵し、キヤノン、ニコン、富士、ソニー、オリンパス、パナソニックなど、各ブランドのカメラの TTL/M/Multi モードを利用でき、ワイヤレスマルチライトフラッシュシステムのスレーブユニットを実現し、撮影プロセスを簡略化する。
2. パワーと携帯性を兼ね備える：200Ws 高出力で、コンパクトで持ち運びに便利であり、0.01 から 1.8s の超急速充電機能を備え、電池容量が大きく、全過程で高速作業できる。
3. 3. 多機能交換可能な口金：直管口金と露出口金を選択でき、いずれも 2 色温度 LED 造形ライトを備え、様々な撮影ニーズを満たすことができる。
4. 操作の直感的識別：16 色グループのライトとカラースクリーンデザインで、操作の直感性を高める。
5. ワイヤレス制御：2.4G ワイヤレス X システムを内蔵し、Godox の XPro、XProII、X2T、X3 シリーズのフラッシュトリガーを使用でき、TTL 制御に対応でき、3.5mm 同期差込口を設置しており、いくつかのトリガー方式を採用できる。
6. 正確な調光：1/512 ~ 1/1 範囲内で 0.1 単位で電力を調整し、精密な制御を実現する。
7. 色温度一定：フラッシュモードの色温度機能をオンにした後、色温度全段階の変動は ±100K 前後であり、色の一致性を高く確保する。
8. その他の機能：1/8000 秒高速同期、高速ストロボ、高速リモコン同期トリガーに対応でき、プロの需要を満たす。
9. 豊富な光効果付属品：豊富な光効果の付属品システム、様々な撮影シーンとクリエイティブニーズに適す。AD200Pro II ポケットフラッシュライトは、その携帯性、多機能性と高効率性で、ビジネスカメラマン、ニュース記者、写真愛好家などの理想的な選択肢となり、幅広い撮影とクリエイティブニーズを満たす。

⚠ 警告

⚠ 製品を乾燥状態に保ってください。
⚠ この機器を無断で分解しないでください。故障した場合は、当社または認定保守員に点検と修理を依頼してください。
⚠ 分解、ぶつかり、押し潰し、又は火の中に投入しないでください。大きく膨張している場合は、使用を停止してください。
⚠ フラッシュライトを直接人の目（特に赤ちゃんの目）に向けてはなりません。短時間で視力障害を引き起こす可能性があります。
⚠ 化学品、可燃性ガス、その他の特別な物質の近くでフラッシュライトを使用しないでください。これらの物質は、フラッシュライトが発する瞬間の強い光に敏感で、火災や電磁妨害を引き起こす可能性があります。この場合は、関連警告表示に注意してください。
⚠ この製品は防水機能を備えていません。雨の日、及び高湿の環境では防水に注意してください。
⚠ 故障が発生した場合は、直ちにフラッシュライトの電源を切ってください。
⚠ この製品の最高動作周囲温度は 45℃であり、高温に注意し、この範囲を超えないでください。

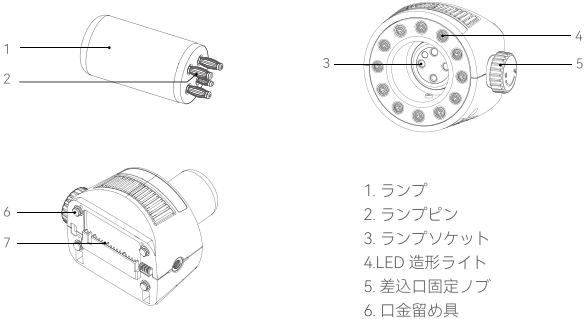
部品名

直管口金 H200II



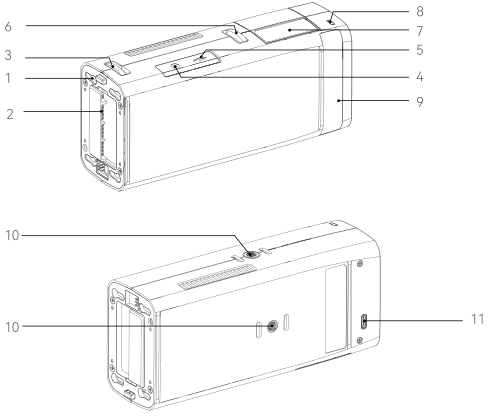
1.LED 造形ライト
2. フラッシュランプ
3. 光学レンズ
4. 口金留め具
5. 口金差込口オス

露出口金 H200JII

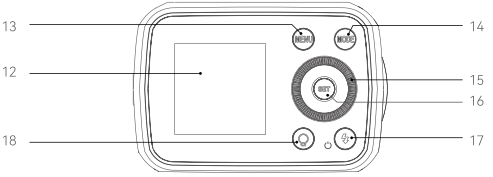


1. ランプ
2. ランプピン
3. ランプソケット
4.LED 造形ライト
5. 差込口固定ノブ
6. 口金留め具
7. 口金差込口オス

本体

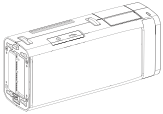


1. 口金留め具穴
2. 口金差込口メス
3. 口金着脱プッシュ
4.3.5mm 同期差込口
5. 急速充電ポート
6. 電池着脱プッシュ
7. 電池
8. グループ表示灯 *2
9. 光制御受信機
10.1/4"取付穴
11.USB-C ファームウェアアップデートポート



12. カラースクリーン
13.MENU ボタン
14.MODE ボタン
15. 調整ダイヤル
16.SET ボタン
17. オン・オフ / フラッシュ試験ボタン
18. 造形ライトボタン

梱包物



ライト本体 × 1



電池 × 1



電池保護カバー × 1



充電スタンド × 1



PD 充電器 × 1



データケーブル × 1



直管口金 H200II× 1



露出口金 H200JII × 1



ランプ × 1



ブラケット AD-E2 × 1



収納バッグ × 1



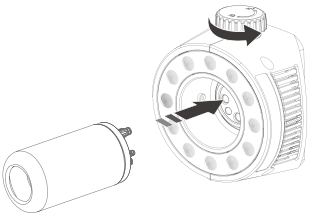
取扱い説明書 × 1

別途購入可能付属品

PB960 電源ボックス
XPro、XProII、X2T、X3 シリーズフラッシュトリガー
H200R 円形口金、R200 環状口金、AD-S 200 棒状口金、AD-B2 デュアルライト口金、柔らかい光作りボックス、レーダカバー、折り畳み式柔らかい光作り傘、光束集中筒、ライトブラケットなど。

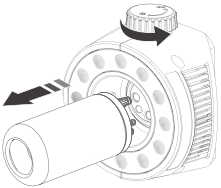
ランプ / 口金 / 電池の着脱

ランプの取付け： ノブがロック解除の奥までねじ込まれるように、差込口固定ノブを（ ）方向に沿って回し、ソケットにランプピンを合わせて平行に挿入し、ノブがロックの奥までねじ込まれるように、差込口固定ノブを（ ）方向に沿って回します。



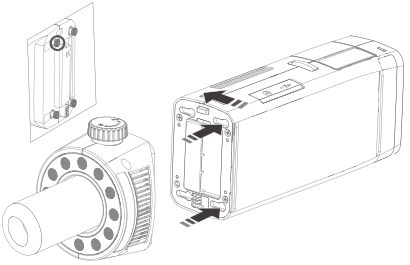
注：ランプのピンは3つは大きい1つは小さいであり対応するソケットの穴も3つは大きい1つは小さいであり、ランプは正確でスムーズに挿入できるように、小さいピンは必ず小穴のソケットに合わせて挿入してください。

ランプの取外し： ノブがロック解除の奥までねじ込まれるように、差込口固定ノブを（ ）方向に沿って回し、ランプを握って平行に抜き出します。

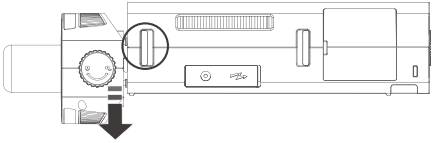


注：安全を確保するために、フラッシュランプの着脱時には手袋を着用してください。概略図では口金とランプとの分離して設計された露出口金 H200JII であり、この着脱方法は露出口金 H200JII を組み立てる時の参考用であり、フラッシュを行った場合は、フラッシュライトが冷却するのを待ってから取り外してください。

口金の取付け： 口金差込口のオスは本体上の口金差込口のメスに合わせ、留め具は留め具の穴に合わせ、口金を押し上げると、口金の着脱プッシュは自動的にロックされ、取り付けが完了します。

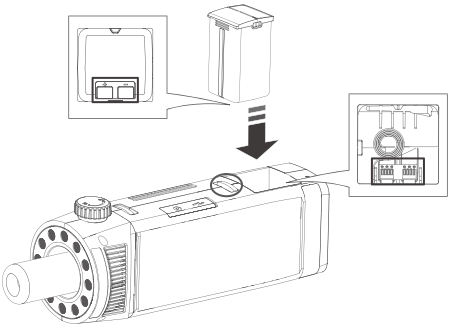


口金の取外し： 口金の着脱プッシュを押しながら口金を持って押し下げ、口金が本体から離脱し、取り外しが完了します。

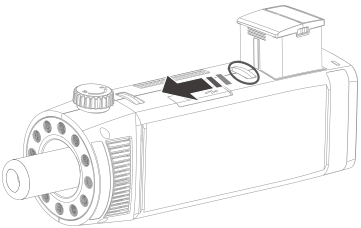


注：口金の着脱概略図は露出口金 H200JII であり、着脱方法は直管口金 H200II にも適用されます。

電池の取付け: 電池の着脱プッシュを押し、電池は電池溝内の金属接点に合わせて挿入し、電池の着脱プッシュを前に押し、「カチッ」という音がすると取り付けが完了します。



電池の取外し: 電池の着脱プッシュを後ろに押し、「カチッ」と音がすると電池が自動的に飛び出し、電池溝から電池を取り出すことができます。



オン・オフ

1. オン・オフボタンを長押しし、画面にロック解除アイコン（  ）が表示され、時計回りに調整ダイヤルを回すとオンになります。
2. オン・オフボタンを長押しし、画面が消灯するとオフになります。

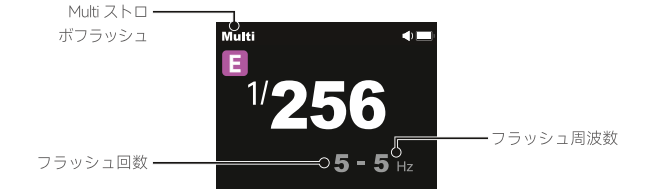
注：長時間使用しない場合は電源を切ってください。この製品は電源自動スリープ機能があり、メニューバーで自動シャットダウン機能を見つけて設定してください。

表示画面

(1) M 手動フラッシュ



(2) Multi ストロボフラッシュ



(3)TTL 自動フラッシュ



電池説明

特性

1. この製品はリチウム電池を採用し、500 回繰り返して充放電でき、使用寿命が長いです。
2. この製品は、内蔵回路は過充電保護、過放電保護、過電流保護、短絡保護機能を備え、安全で信頼性が高い。
3. 標準装備の電池充電器を採用し、低電力から完全充電まで約 1 時間かかります。

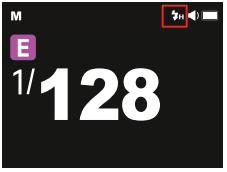
注意事項

⚠ 正負極の短絡を回避してください。
⚠ 電池は防水機能を備えていません。電池を霧や水に浸してはいけません。
⚠ お子様の手が届かない場所に置いてください。
⚠ 電池は 24 時間以上を放置して充電しないでください。
⚠ 電池は涼しくて、乾燥で換気の良い場所に保管してください。
⚠ 電池を火の近く、又は火の中に投げないでください。
⚠ 電池の廃棄は、現地の規定に従ってください。
⚠ 3 カ月以上電池を使用していない場合は、完全充電してください。

ϟH 高速同期

高速同期 (FP フラッシュ) を使用すると、すべてのシャッタースピードでフラッシュライトを同時に使用できます。高速同期モードは、絞りを使用して優先的に人物像の充填フラッシュに特に便利です。

1.MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、ダイヤルを回して高速同期を選択し、SET ボタンを短押ししてダイヤルを回してオン又はオフにすることができ、設定完了後、MENU ボタンを短押しして主画面に戻り、上方のステータスバーが表示されます (ϟH)。



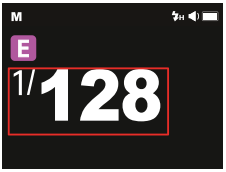
2.XPro、XProII、X2T、X3 シリーズのフラッシュトリガーを使用してください。

注:

- 設定したシャッタースピードがカメラの最大フラッシュ同期速度と等しいか遅い場合、ファインダには < ϟH > アイコンが表示されません。
- 高速同期を使用すると、シャッタースピードが高いほど、有効なフラッシュ範囲が小さくなります。
- 通常のフラッシュを復元するには、メニューバーに入って高速同期機能をオフにし、主画面の < ϟH > アイコンが消えます。
- 高速同期モードでは、ストロボフラッシュを設定できません。
- 50 回連続して高速同期フラッシュを行うと、フラッシュライトの熱保護機能が有効になる可能性があります。

M: 手動フラッシュ

フラッシュ出力は、1/512 から 1/1 のフルパワーの間で 1/10 段階で設定できます。正しいフラッシュ露出を得るためには、手持ち式フラッシュ光測定器を使用して必要なフラッシュ出力を確認してください。MODE ボタンを押して画面に <**M**> を表示させ、ダイヤルを回してフラッシュ出力パワーを設定します。



フラッシュ出力の表示

撮影中にフラッシュ出力を変更すると、次の表に絞り値がどのように変更されたかがはっきりと表示されます。フラッシュ出力を増加又は減少させるときに絞り値の変更規則を表示できます。
時計回りにダイヤルを回してフラッシュ出力を増やし、逆時計回りにダイヤルを回してフラッシュ出力を減らします。

1/512	1/512 (0.1~0.9)
1/256	1/256 (0.1~0.9)
1/128	1/128 (0.1~0.9)
1/64	1/64 (0.1~0.9)
1/32	1/32 (0.1~0.9)
1/16	1/16 (0.1~0.9)
1/8	1/8 (0.1~0.9)
1/4	1/4 (0.1~0.9)
1/2	1/2 (0.1~0.9)
1/1	(フルパワー)

S1 光制御ユニットの設定

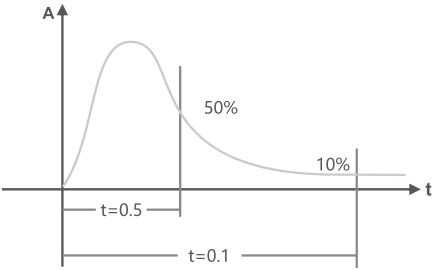
MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、ダイヤルを回して光制御フラッシュトリガーを選択し、SET ボタンを短押ししてダイヤルを回してオン・オフ /S1/S2 を選択でき、S1 を設定してから MENU ボタンを短押しすると、主画面に戻ります。
このとき、フラッシュライトはサブライトとしてさまざまな照明効果を演じることができ、手動フラッシュ環境に適します。メインフラッシュライトの最初のフラッシュと同期してフラッシュをトリガーし、その効果はワイヤレスフラッシュトリガーを使用する場合と同じです。

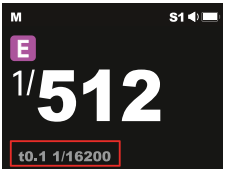
S2 光制御ユニットの設定

MENUボタンを短押ししてメニューに入り、ダイヤルを回して光制御フラッシュを選択し、SET ボタンを短押ししてダイヤルを回してオン・オフ /S1/S2 を選択でき、S2 を設定してから MENU ボタンを短押しすると、主画面に戻ります。
このとき、フラッシュライトはサブライトとして使用でき、TTL フラッシュ環境に適します。プリフラッシュ防止機能があり、1 回プリフラッシュ機能を備えたカメラを使用する場合は、光制御で同期撮影を実現することができます。メインフラッシュライトの 2 回目のフラッシュと同期してフラッシュをトリガーすることができ、すなわち、2 回光制御フラッシュです。
注 :1.S1/S2 光制御フラッシュモードは、M モードでのみ実現できます。

フラッシュ持続時間の表示

フラッシュ持続時間とは、フラッシュライトの発光から半ピークに到達するまでかかった時間のことです。半ピーク t=0.5。カメラマンにより詳細な撮影数値を提供するために、本製品は t=0.1 を採用しています。t=0.5 と t=0.1 の違いを下の図に示します。



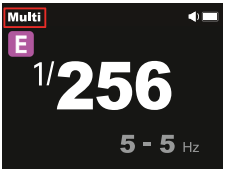


注 : フラッシュ持続時間は、M モードで高速同期をオフにしている場合にのみ表示されます。

Multi: ストロボフラッシュ

ストロボフラッシュを使用して、1 枚の写真に移動物体の複数の画像を撮影することができる一連の高速フラッシュを放出することができます。次の 3 つのステップでは、フラッシュ出力、フラッシュ回数とフラッシュ周波数 (1 秒あたりのフラッシュ回数、単位 Hz) を順に設定します。

1.MODE ボタンを押して画面に < **Multi** > を表示させ、ダイヤルを回してフラッシュ出力パワーを設定します。
2.SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回してフラッシュ回数を設定します。
3.SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回してフラッシュ周波数を設定します。



シャッタースピードの計算

ストロボフラッシュを行う際に、ストロボフラッシュが停止するまで、シャッターは開いた状態にしておく必要があります。次の式を使用してシャッタースピードを計算し、カメラで設定します。
フラッシュ回数 / フラッシュ周波数 = シャッタースピード
例: フラッシュ回数は 10、フラッシュ周波数は 5Hz の場合、シャッタースピードは少なくとも 2 秒です。

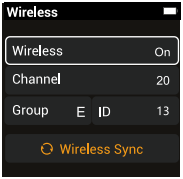
注:
- 反射が強い被写体は、暗い背景の前にストロボフラッシュを使用するとより効果的です。
- 三脚と TTL フラッシュトリガーの使用を推奨します。
- フラッシュ出力が 1/1 と 1/2 の場合はストロボを設定できません。
- ストロボフラッシュ時も「bulb」を使用できます。
- フラッシュ回数が -- と表示されている場合は、シャッターがオフになったり、電力がなくなるまで連続的にフラッシュします。次の表に示すように、フラッシュ回数は制限されます。

最大連続ストロボフラッシュ回数

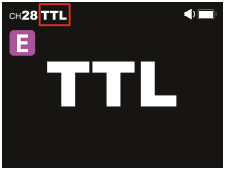
フラッシュ出力 \ Hz	1	2	3	4	5	6-7	8-9	10	11	12-14	15-19	20-50	60-99
1/4	7	6	5	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2
1/8	14	14	12	10	8	6	5	4	4	4	4	4	4
1/16	30	30	30	20	20	20	10	8	8	8	8	8	8
1/32	60	60	60	50	50	40	30	20	20	20	18	16	12
1/64	90	90	90	80	80	70	60	50	40	40	35	30	20
1/128 1/256 1/512	90	90	90	90	90	90	80	70	70	60	50	40	40

TTL: 自動フラッシュ

TTL モードでは、カメラの測光システムが本体から反射してきたフラッシュ照明を検出し、それによりフラッシュ出力量を自動的に調整し、本体と背景を均等に露出させます。
MENU ボタンを短押ししてメニューに入ってワイヤレス機能をオンにし、グループを A から E のいずれかに設定し、設定完了後、MENU ボタンを 2 回短押しして主画面に戻ります。



MODE ボタンを押して画面に <TTL> を表示させ、フラッシュライトを TTL モードにすることができます。

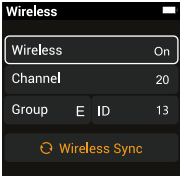


ワイヤレス (2.4G) 伝送

AD200ProII は 2.4G ワイヤレス X システムを使用しており、当社の他のモデルと完璧に組み合わせて使用することができます。スレーブユニットとして利用できるカメラは、キヤノン、ニコン、ソニー、オリンパス、パナソニック、富士、ペンタックス、ライカなどがあり、マスターユニットによって自動的に切り替えることができ、手動設定が不要です。AD200ProII はスレーブユニットとして、XPROII シリーズ /X3 シリーズ /X1T シリーズ / X2T シリーズ /V1Pro シリーズ /V1 シリーズ /V860III シリーズなど、ワイヤレス送信機能付きのマスターユニットを制御することができます。

ワイヤレス設定

MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、ダイヤルを回してワイヤレスを選択し、SET ボタンを短押ししてダイヤルを回してワイヤレスオン・オフ / チャンネル / グループ / 識別番号 / ワイヤレス同期を選択でき、SET ボタンを短押ししてダイヤルを回すと、その中のいずれか一項を設定することができ、設定完了後、MENU ボタンを短押ししてメニューに戻り、もう一度 MENU ボタンを短押しして主画面に戻ります。





通信チャンネルの設定

撮影現場で複数のワイヤレスフラッシュシステムを使用している場合は、通信チャンネルを変更し、又は識別番号を設置することで信号干渉を防ぐことができますが、マスターユニットとスレーブユニットが同じチャンネルに設定されていることを保証する必要があります。

ワイヤレス	オン / オフ
チャンネル	1-32
グループ	0-9、A-F
識別番号	オフ、1-99
ワイヤレス同期	SET ボタンを短押ししてワイヤレス同期を行います

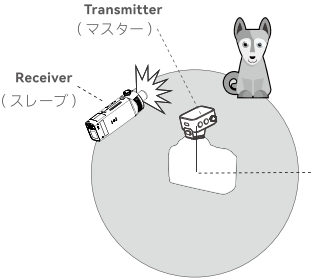
X3 フラッシュトリガーを例に取って使用方法を説明

1. カメラの電源を切り、フラッシュトリガーをカメラのホットシューのソケットに置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。
2. フラッシュトリガー X3 の設定：画面を上から下にスライドさせて画面に < 設定 > を表示させ、< 設定 > をクリックしてカスタマイズメニューに入り、ワイヤレス設定をクリックしてチャンネル、識別番号の設定画面に入ります。画面を左から右にスライドすると主画面に戻ることができ、主画面でグループのフラッシュモードやフラッシュパワー階段値を設定することができます。
3. フラッシュライト AD200ProII の設定：MENU ボタンを短押ししてワイヤレスを選択し、ワイヤレス設定に入ってこの機能をオンにし、チャンネル、識別番号をフラッシュトリガーと一致するように設定します。
4. フラッシュトリガー上のワイヤレス同期をクリックし、フラッシュライトがワイヤレス同期を選択し、SET ボタンを短押しすると、両方のワイヤレスチャンネル、識別番号を同じ番号に設定できます。
5. カメラのシャッターを押すとフラッシュをトリガーできます。

ワイヤレスフラッシュ撮影

位置付けと操作範囲（ワイヤレスフラッシュ撮影例）

● 1 つのスレーブユニットを使用した自動フラッシュ撮影

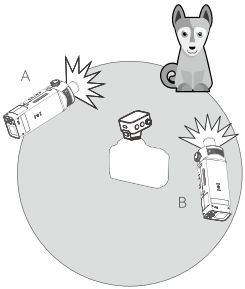


注:
1. 送信側としてワイヤレス送信機能付きのマスターユニットを使用します。
2. 撮影前にフラッシュ試験と撮影試験を行ってください。
3. 位置、周辺環境、天気などの影響を受けて、伝送距離が短くなる場合があります。

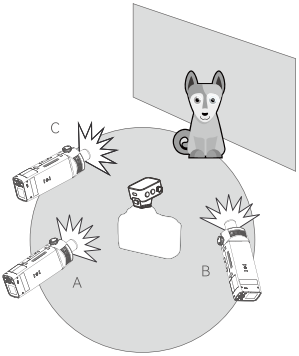
ワイヤレス多重フラッシュ撮影

スレーブユニットを 2 つ又は 3 つのグループに分割し、フラッシュ比（倍率）を変更しながら TTL 自動フラッシュ撮影を行うことができます。また、各フラッシュグループに対して異なるフラッシュモードを設定して撮影することができます。

● 2 つのスレーブユニットを使用して自動フラッシュ撮影を行います。



● 3 つのスレーブユニットを使用して自動フラッシュ撮影を行います。



Godox2.4G ワイヤレスフラッシュ漏れの原因及び解決策

1. 外部環境 2.4G 信号干渉（無線基地局、2.4Gwifi ルーティング、Bluetooth デバイスなど）
→フラッシュトリガーのチャンネル CH 設定を調整し（推奨 + 10）、干渉のないチャンネルを見つけ、又は他の 2.4G デバイスをオフにしてください。

2. フラッシュライトがすでに充電され、又はその充電速度が連写速度に追従することができ、過熱保護又はその他の異常状態にないことを確認してください。
→フラッシュライトの段階値を下げてください。TTL モードの場合は M モードに変更してみてください（TTL モードでは事前に 1 回フラッシュする必要があります）。

3. フラッシュトリガーとフラッシュライトとの距離が近すぎるか（距離 <0.5 m）
→フラッシュトリガー上で「近距離ワイヤレスモード」をオンにしてください。
X1 シリーズ：フラッシュトリガーボタンを押し続け、インジケータが 2 回点滅するまで電源を入れます。
Xpro、X2T シリーズ :C.Fn-DIST を 0-30m に設定します。
X3 シリーズ：トリガー距離を 0-30m に設定します。

4. フラッシュトリガーおよび受信側のデバイスが低電力状態にあるかどうか
→フラッシュトリガーとフラッシュライトの電力量が十分であることを確保するために、電池を交換する、又は充電してください。

フラッシュモード

MENUボタンを短押ししてメニューに入り、ダイヤルを回してフラッシュモードを選択し、SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回して標準 / 色温度を選択できます。

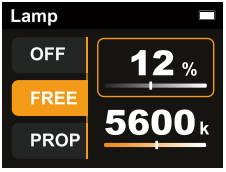
選択	フラッシュモード	説明
標準	標準フラッシュ	主画面に指示がない
色温度	色温度一定	主画面にアイコン (ⓒ) が表示されます

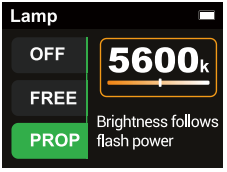
色温度一定をオンにすると、主画面にアイコン (ⓒ) が表示され、グループの表示灯が点滅し、ブザーをオンにした場合は 1 分間鳴ります。この時、フラッシュ試験ボタンを押して放電すると、正常に使用できます。色温度一定は M モードで高速同期をオフにした場合にオンにすることができます。この機能をオンにした後、色温度の各段階の変動は ±100K 前後です。

造形ライト

AD200ProII は 2 色温度 LED 造形ライトを装備しており、造形ライトのボタンを短押しして設定に入り、ダイヤルを回してオフ / オン / 追従を選択でき、SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回してそのいずれか一項を設定することができ、設定完了後、造形ライトのボタンを短押しして主画面に戻ります。

注：造形ライトのボタンを長押しして造形ライトをオン / オフにすることができます。





オフ	輝度 (1% 単位で変わる)	色温度 (100K 単位で変わる)
オン	輝度 :0%-100%	2800K-6000K
追従	輝度はフラッシュパワーに追従	2800K-6000K

カスタム機能

MENU ボタンを短押ししてメニュー画面に入り、ダイヤルを回してメニューからいずれか一項を選択し、SET ボタンを短押しし、ダイヤルを回して設定を行い、設定完了後に MENU ボタンを短押しして戻ります。

アイコン	機能	項目	説明
	ワイヤレス	オフ	ワイヤレス設定オフ
		オン	通信チャンネルの設定
	フラッシュモード	標準	標準フラッシュ
		色温度	M 非高速モードではオンにすることができます
	光制御フラッシュ	オフ	光制御フラッシュオフ
		S1 S2	M モードではオンにすることができます
	高速同期	オフ	高速同期オフ
		オン	M モードではオンにすることができます
	造形ライト	フラッシュライト消灯	フラッシュライト充電消灯
		持続	常時点灯
	ブザー	オフ	ブザーオフ
		オン	ブザーオン
	パワー表示	1/512	非高速モードでは、フラッシュ段階は 1/512-1/1 と表示されます
		1.0	非高速モードでは、フラッシュ段階は 1.0-10.0 と表示されます
	画面待機	30 秒	30 分以上で何らかの操作をしないと、自動的にスリープ状態になります
		1 分	1 分以上で何らかの操作をしないと、自動的にスリープ状態になります
		2 分	2 分以上で何らかの操作をしないと、自動的にスリープ状態になります
		3 分	3 分以上で何らかの操作をしないと、自動的にスリープ状態になります
	自動オフ	オフ	自動オフを無効にします
		30 分	30 分後に自動的にオフになります
		60 分	60 分後に自動的にオフになります
		90 分	90 分後に自動的にオフになります
		約 120 分	120 分後に自動的にオフになります
	画面の輝度	20%~100%	ダイヤルを回して輝度値を設定します

	フラッシュ遅延	オフ	フラッシュ遅延オフ
		0.01-30.0 秒	0.01 秒で変わる
	マスク	2 マスク	ダイヤルを回して設定します
		3 並べ替え	
		4 並べ替え	
	言語	中国語	画面の表示言語は簡体字中国語です
		English	画面の表示言語は English です
	工場出荷時設定に復元	はい	工場出荷時設定に復元
		いいえ	工場出荷時設定に復元をキャンセルします
	機器情報	オプションなし	現在の機器型番及びバージョン番号を表示します

同期ソケットトリガー

同期ソケットの仕様は Φ3.5mm、ここに同期ケーブル又はトリガープラグを挿入してフラッシュライトを同期フラッシュさせることができます。

急速充電ポート

急速充電ポートに別途購入した PB960 電源ボックスを接続すると、充電速度が大幅に向上し、別の電力供給方式として使用することができますが、電池の充電には使用できません。

注 : 外付け電池ボックス (PB960) を使用する際には、色温度モードを使用できません。

保護機能

1. 熱保護

- フラッシュライトの口金の過熱による損傷を防ぐため、1/1 段階で 100 回以上の急速連続フラッシュを行わないでください。100 回フラッシュした後、少なくともフラッシュライトを 15 分間冷却してください。
- 100 回以上の連続フラッシュを行った直後により多くのフラッシュを継続すると、内部の過熱防止機能が有効になり、充電時間が 10 秒以上になる可能性があります。このような状況が発生した場合は、フラッシュライトを 10 分冷却させると回復できます。
- 熱保護機能が有効になったら、ディスプレイにアイコン < > が表示されます。

熱保護機能が有効になる連続フラッシュ回数

パワー	回数 (直管口金 H200II)	回数 (露出口金 H200JII)
1/1	50	60
1/2(+0.7 ~ +0.9)	62	80
1/2(+0.3 ~ +0.6)	75	100
1/2(+0.0 ~ +0.2)	93	120
1/4(+0.0 ~ +0.9)	125	150
1/8(+0.0 ~ +0.9)	250	260
1/16(+0.0 ~ +0.9)	375	400
1/32(+0.0 ~ +0.9)	625	750
1/64(+0.0 ~ +0.9)	1250	1500
1/128(+0.0 ~ +0.9)	2500	3000
1/256(+0.0 ~ +0.9)	3750	6000
1/512(+0.0 ~ +0.9)		

高速同期モードにおける熱保護機能が有効になる連続フラッシュ回数:

パワー	回数 (直管口金 H200II)	回数 (露出口金 H200JII)
1/1	40	50
1/2(+0.0 ~ +0.9)	75	80
1/4(+0.0 ~ +0.9)	93	100
1/8(+0.0 ~ +0.9)	125	136
1/16(+0.0 ~ +0.9)	187	200
1/32(+0.0 ~ +0.9)		
1/64(+0.0 ~ +0.9)	230	250
1/128(+0.0 ~ +0.9)		

2. その他の保護

設備の安全な動作を保証するために、システムは常に予防保護を行い、以下の注意記号を参考にしてください。

画面表示	警告内容
Error1	フラッシュライトの充電システムに問題が発生し、充電してフラッシュをトリガーすることができない場合は再起動してください。解決できない場合は修理してください。
Error3	フラッシュランプ両端の電圧が高すぎ、修理してください。
Error9	ファームウェアアップデートエラー、正しく行ってください。

仕様

型番	AD200ProII
ワイヤレススレーブユニットモード	ワイヤレスモード (キヤノン E-TTLII、ニコン i-TTL、ソニー、オリンパス、パナソニック、富士などを使用できる)
フラッシュモード	ワイヤレスオフ：M/Multi
	ワイヤレススレーブモード：TTL/M/Multi
フラッシュ指数 (1/1 段階)	直管口金 H200II:GN52(mISO100,@35mm)
	露出口金 H200JII:GN60(mISO100、AD-S2 標準リフレクターを使用、@28mm)
フラッシュ持続時間 t0.1(約)	直管口金 H200II:1/272 秒 ~1/23500 秒
	露出口金 H200JII:1/252 秒 ~1/16200 秒
パワー (1/1 段階)	200Ws
階段値	10 級 :1/512~1/1(各階段 0.1 単位で微調整)
ストロボフラッシュ	(回数：90 回、周波数：99Hz)
フラッシュ露出補正 (FEC)	使用する 2.4G リモコンで調整する
同期方式	高速同期 (最大 1/8000 秒)、フロントカーテン同期、リアカーテン同期
フラッシュトリガー遅延	0.01~30 秒
マスク	√
ファン	√
ブザー	√
フラッシュ持続時間の表示	√
Model 造形ライト (LED)	√
光制御フラッシュ	S1/S2/OFF
表示	カラースクリーン
動作周囲温度	最高 45° C
ワイヤレスフラッシュ (2.4G ワイヤレス機能)	
ワイヤレス機能	スレーブユニット / オフ
制御できるスレーブユニットグループ	16 グループ：0-9、A-F
伝送距離	約 100m
チャンネル	32 グループ：1-32
ID 識別番号	01-99/OFF
電源	
電源	リチウム電池 (14.4V/2980mAh)
フルパワーフラッシュ回数	500 回
充電時間	約 0.01~1.8 秒
省エネ	フラッシュライトは、30 分 ~ 120 分操作しないと、自動的に電源を切るように設定できます
同期トリガー方式	3.5mm 同期ケーブル
フラッシュチューブ色温度	5800±200° K
フラッシュモード (色温度)	色温度モードをオンにして、フラッシュ色温度の各段階は ±100K 変動します

寸法と重量	
機器寸法（露出口金 H200JII、ランプと電池を含む）	≈ 260mm*90mm*79mm
機器正味重量（露出口金 H200JII、ランプと電池を含む）	≈ 0.99kg
機器寸法（直管口金 H200II、電池）	≈ 210mm*78mm*52mm
機器正味重量（直管口金H200II、電池）	≈ 0.9kg

ファームウェアアップデート

- この機器は USB-C ポートを通じてファームウェアのアップデートを行うことができ、ソフトウェアの最新公告と説明は公式サイトに発表されます。
- この製品は工場出荷時に USB アップデートケーブルが同梱されていません。別途購入してください。この製品の USB ポートは USB-C であり、USB-C ケーブルを使用して
- ください。
- 製品のファームウェアアップデートには Godox G3 プログラムソフトウェアが必要です。ファームウェアをアップデートする前に Godox 公式サイトで「Godox G3 ファームウェアアップデートソフトウェア」をダウンロードしてインストールし、適切なファームウェアファイルを選択してください。

注 : 製品のファームウェアアップデートのため、説明書は最新の電子版をご参照ください。

メンテナンス

- フラッシュライトの動作中に異常が発生した場合は、すぐに電源を切って原因を究明してください。
- ライト本体は振動を避け、表面にほこりがないように注意してください。
- ライト本体のやや発熱は正常であり、特に必要がない場合は、連続フラッシュを行わないでください。
- フラッシュライトに関連するすべての修理は、当社が指定された純正部品を供給できる修理部門によって行います。
- 保証期間は 1 年です、ランプなどの消耗品は 1 年保証対象外です。
- このフラッシュライトを無断で修理していることが判明された場合、フラッシュライトの 1 年保証期間をキャンセルし、かかる修理費用を請求します。
- 本製品が故障したり、水に濡れたりした場合は、専門者によって修理してから使用してください。
- 技術に関連する変更は、予告なしに行う場合があります。

Inhaltsverzeichnis

Vorwort	33
Produkteigenschaften	33
Warnung	34
Teilebezeichnung	35
Stückliste	37
Zusätzliches erhältbares Zubehör	37
Einbau und Abbau von Leuchtröhren/Lampenfassungen/Batterien	38
Ein-/Ausschalten	41
Display	41
Batteriehinweise	42
Hochgeschwindigkeitssynchronisation	43
M: manuelles Blitzen	43
Multi: (Stroboskop)	46
TTL: Automatisches Blitzen	47
Funkübertragung (2,4G)	48
Ursachen und Lösungen fürs Auslassen beim drahtlosen Blitzen bei Godox 2,4G	51
Blitzmodus	52
Stylingleuchte	52
Benutzerdefinierte Funktionen	53
Auslösen durch Synchronisationsbuchse	54
Schnellladeanschluss	54
Schutzfunktionen	54
Technische Daten	56
Firmware-Upgrade	58
Wartung und Pflege	58

Sicherheitstipps zum Handbuch

Wichtiger Sicherheitstipp:

Dieses Produkt gehört zu professionellen Fotogeräten und benötigt professionelles Personal, um es zu bedienen und zu benutzen.
Beim Einsatz sind folgende grundlegende Sicherheitsvorkehrungen zu beachten:
Alle Transportschutzmaterialien und Verpackungen am Produkt müssen vor Gebrauch entfernt werden.

1. Bevor Sie dieses Produkt verwenden, lesen Sie bitte das Produkthandbuch sorgfältig und vollständig durch. Befolgen Sie strikt die Sicherheitshinweise im Handbuch. Andernfalls kann es zu Tod, schweren Verletzungen, Produktschäden oder anderen Sachschäden kommen.
2. Es liegt eine hohe Spannung an, wenn der Blitz funktioniert. Die interne Kapazität des Geräts wird nach dem Herunterfahren für eine gewisse Zeit weiter aufgeladen.
3. Dieses Produkt ist eine professionelle Lampe, Kinder dürfen es nicht benutzen. Wenn sich Kinder in der Nähe befinden, müssen Erwachsene genau beaufsichtigen, um zu verhindern, dass Kinder mit Leuchten zusammenprallen oder diese unbefugt benutzen und Personen verletzen.
4. Diese Leuchte ist keine gewöhnliche Lampe und darf nicht für die Allgemeinbeleuchtung verwendet werden. Personen mit Augenbeschwerden oder empfindlichen Augen sollten diese
5. Leuchte nicht benutzen oder direkt in sie hineinschauen.
6. Bei der Verwendung ist Vorsicht geboten. Der Kontakt mit Hochtemperaturkomponenten wie Blitzröhren ist strengstens untersagt, um Verbrennungen zu vermeiden.
7. Unter keinen Umständen ist es verboten, das Blitzlicht direkt auf das menschliche Auge (insbesondere auf die Augen von Säuglingen) zu richten, da dies sonst in kurzer Zeit zu Sehstörungen führen kann. Wenn Sie sich unwohl fühlen, sollten Sie sofort das Licht ausschalten, die Verwendung einstellen und rechtzeitig einen Arzt aufsuchen.
8. Wenn die Blitzröhre beschädigt ist, sollte sie sofort gestoppt werden. Der Hersteller, der Kundendienst oder qualifiziertes Wartungspersonal sollten rechtzeitig kontaktiert werden, um sie im Falle eines Unfalls auszutauschen.
9. Es ist strengstens verboten, beschädigte Geräte oder Zubehörteile zu verwenden. Sie müssen warten, bis professionelles Wartungspersonal überprüft und bestätigt hat, dass das Gerät normal ist, bevor Sie es weiter verwenden.
10. Bevor Sie die Lichtröhre, das Schutzglas oder die Sicherung austauschen, müssen Sie die Stromversorgung trennen oder die Batterie (falls vorhanden) entfernen, um sicherzustellen, dass die Lampe vollständig von der Stromversorgung getrennt ist. Lassen Sie die Lampe 10 Minuten abkühlen, bevor Sie sie austauschen. Tragen Sie während des Betriebs isolierte/oder isolierte Handschuhe.
11. Das Produkt muss ausgeschaltet sein, wenn der Lampenstecker herausgezogen ist. Es muss überprüft werden, ob es vollständig klemmt, wenn der Stecker eingesteckt ist.
12. Wenn das Produkt während des Gebrauchs durch Fallenlassen, Quetschen oder starke Stöße zerbricht, muss es sofort ausgeschaltet werden, um Verletzungen durch Stromschlag durch Kontakt mit internen elektronischen Bauteilen zu vermeiden.
13. Einige Produkte haben lange Netzkabel. Bitte platzieren Sie sie richtig, um den Kontakt mit Wärmequellen zu vermeiden oder andere auszulösen. Es wird empfohlen, das Original-Netzkabel zu verwenden. Schäden, die durch nicht originale Leitungen verursacht werden, fallen nicht unter die Garantie.

14. Ziehen Sie vor der Reinigung und Reparatur den Netzstecker aus der Steckdose. Ziehen Sie das Netzkabel nicht gewaltsam, der richtige Weg ist, den Stecker mit beiden Händen zu ziehen.
15. Dieses Gerät ist nicht wasserdicht, bitte trocken halten, nicht in Wasser oder andere Flüssigkeiten eintauchen. Es sollte an einem belüfteten und trockenen Ort installiert werden, um den Einsatz in regnerischer, feuchter, staubiger oder überhitzter Umgebung zu vermeiden. Stellen Sie keine Gegenstände auf das Gerät und lassen Sie keine Flüssigkeiten hineinfließen, um Gefahren zu vermeiden.
16. Zerlegen Sie dieses Produkt nicht ohne Genehmigung. Wenn das Produkt ausfällt, muss es vom Unternehmen oder autorisiertem Wartungspersonal inspiziert und repariert werden.
17. Stellen Sie vor dem Lagern des Geräts sicher, dass das Gerät vollständig gekühlt ist, und ziehen Sie das Netzkabel ab. Legen Sie es in das Gerätepaket oder an einen belüfteten und trockenen Ort.
18. Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von brennbaren flüchtigen Lösungsmitteln wie Alkohol, Benzin oder Gasen wie Methan, Ethan usw. auf.
19. Es ist verboten, dieses Gerät in explosionsgefährdeter Umgebung zu verwenden oder zu lagern.
20. Es ist strengstens verboten, den Kühlkörper des Geräts abzudecken!
21. Verwenden Sie kein Zubehör, das nicht vom Unternehmen genehmigt wurde, um Feuer, Stromschlag oder Personenschäden zu vermeiden.
22. Wenn Sie das Gerät reinigen, wischen Sie es vorsichtig mit einem trockenen, weichen Tuch ab. Verwenden Sie kein feuchtes Tuch, da es sonst das Gerät beschädigen kann.
23. Einige Produkte sind mit Schutzhüllen ausgestattet, die vor Gebrauch entfernt werden müssen.
24. Dieses Handbuch basiert auf strengen Tests und das Design. Die Spezifikationen können ohne vorherige Ankündigung geändert werden. Sie können die neuesten elektronischen Anweisungen auf unserer offiziellen Webseite für die neuesten Produktinformationen überprüfen.
25. Einige Produkte verfügen über eingebaute Lithiumbatterien, die mit einem speziellen Ladegerät aufgeladen und innerhalb des angegebenen Spannungs- und Temperaturbereichs gemäß der entsprechenden Bedienungsanleitung verwendet werden müssen.
26. Das Produkt wird mit Lithiumbatterien betrieben. Diese Art von Lithium-Ionen-Batterie hat eine begrenzte Lebensdauer und verliert allmählich ihre Speicherkapazität, die irreversibel ist. Die Produktlebensdauer verkürzt sich, wenn die Batterie altert. Die Lebensdauer von Lithium-Ionen-Batterien wird voraussichtlich 2-3 Jahre betragen. Bitte überprüfen Sie die Batterie regelmäßig. Erwägen Sie, ihn auszutauschen, wenn die Ladezeit erheblich verlängert oder die Akkulaufzeit erheblich verkürzt wird.
27. Das Produkt ist mit einer Lithiumbatterie ausgestattet. Für die folgende Lagerungsempfehlungen gelten: Batterie vor der Lagerung auf ca. 50 % laden und entladen; Batterie mindestens alle 6 Monate auf ca. 50 % laden; Ersatzbatterie separat lagern; Lagertemperatur zwischen 0 °C und 40 °C.
28. Bevor Sie mit Batterien umgehen, bestätigen Sie bitte die einschlägigen lokalen Gesetze und Vorschriften und halten Sie sie ein.
29. Die Garantiezeit für dieses Gerät beträgt ein Jahr. Verbrauchsmaterialien (wie Batterien), Adapter, Netzkabel und anderes Zubehör fallen nicht unter die Garantie.
30. Nicht autorisierte Reparaturen disqualifizieren die Garantie und die Reparaturkosten werden in Rechnung gestellt.
31. Fehler, die durch unsachgemäßen Betrieb verursacht werden, fallen nicht unter die Garantie.

Vorwort

Vielen Dank, dass Sie Godox-Produkte gekauft haben.
AD200Pro II ist ein kabelloses TTL-Blitzlicht. Es nutzt das integrierte Godox 2.4G Wireless X System und kann mit Blitzauslösern der XPro, XPro II, X2T und X3 Serie von Godox verwendet werden, um das AD200Pro II Blitzgerät im TTL- / M- / Multi-Modus fernzusteuern. Gleichzeitig kann er auch in Kombination mit Godox Aufsteckblitzlichten, externen Blitzen und Studioblitzen mit Master-Slave-Funktion verwendet werden.

Produkteigenschaften

1. Voll kompatibel mit drahtlosem TTL-System: Integriertes Godox 2.4G drahtlos X-System, kompatibel mit TTL/M/Multi-Modus von Canon, Nikon, Fujifilm, Sony, Olympus, Panasonic und anderen Kameras, um die drahtlose Untereinheit des Multi-Blitzsystems zu realisieren und den Aufnahmeprozess zu vereinfachen.
2. Sowohl Leistung als auch Tragbarkeit: 200Ws hohe Leistung, kleine Größe und leicht zu transportieren, extreme schnelle Wiederbereitschaft von 0,01 bis 1,8Sek., große Batteriekapazität, unterstützt hohe Geschwindigkeit durchgehend.
3. Multifunktionale austauschbare Lampenfassung: Lampenfassung mit gerader Leuchtröhre und Lampenfassung mit blanker Leuchtröhre sind beide wählbar und beide sind mit LED-Modellierlampen mit Doppelfarbtemperaturen ausgestattet, um verschiedene Aufnahmeanforderungen zu erfüllen.
4. Intuitive Bedienungserkennung: 16 Farbgruppenlichter und Farbbildschirme sind entwickelt, um die Bedienungsintuition zu verbessern.
5. Drahtlose Steuerung: Integriertes 2.4G Drahtlos X-System, kompatibel mit Blinkern der Godox XPro, XProII, X2T, X3-Serie, unterstützt TTL-Steuerung, reserviert 3,5mm-Synchronbuchse, kompatibel mit einer Vielzahl von Auslösemethoden.
6. Präzises Dimmen: Leistungen sind in Schritten von 0,1 zwischen 1/512 und 1/1 einstellbar, um eine Feinsteuerung zu erreichen.
7. Konstante Farbtemperatur: Nach dem Einschalten der Farbtemperaturfunktion im Blitzmodus beträgt die Schwankung des Vollfarbtemperaturgetriebes etwa ± 100K, was die Farbkonsistenz stark gewährleistet.
8. Weitere Funktionen: Unterstützt 1/8000 Sekunden HS-Synchronisation, HS-Strobeskop, Sync-Auslösen der HS-Fernbedienung, um professionelle Bedürfnisse zu erfüllen.
9. Reichhaltiges Lichteffektszubehör: Reichhaltiges Lichteffektzubehörsystem zur Anpassung an verschiedene Aufnahmeszenen und kreative Bedürfnisse. Mit ihrer Portabilität, Vielseitigkeit und Effizienz ist die AD200Pro II Taschenlampe ideal für kommerzielle Fotografen, Journalisten, Fotografie-Enthusiasten usw., um eine Vielzahl von Aufnahme- und Kreativbedürfnissen zu erfüllen.

⚠ Warnung

- ⚠ Bitte halten Sie das Produkt trocken.
- ⚠ Zerlegen Sie das Produkt nicht unbefugt. Wenn das Produkt ausfällt, muss es vom Unternehmen oder autorisiertem Wartungspersonal inspiziert und repariert werden.
- ⚠ Zerlegen, Stoßen, Quetschen oder Werfen ins Feuer sind verboten und verwenden Sie es nicht weiter, wenn starke Ausbauchungen auftreten.
- ⚠ Blinken Sie die Lampenfassung nicht direkt auf das menschliche Auge (insbesondere nicht auf die Augen des Babys), da dies für kurze Zeit zu Sehstörungen führen kann.
- ⚠ Verwenden Sie Blitzgeräte nicht in der Nähe von Chemikalien, brennbaren Gasen oder anderen besonderen Stoffen, die auf Blitzgeräte empfindlich reagieren und Feuer oder elektromagnetische Störungen verursachen können. Achten Sie in diesen Fällen auf die zugehörigen Warnschilder.
- ⚠ Dieses Produkt ist nicht wasserdicht. Bitte seien Sie an Regentagen und in feuchter Umgebung wasserdicht.
- ⚠ Schalten Sie im Falle einer Fehlfunktion den Blitz sofort aus.
- ⚠ Die maximale Betriebstemperatur dieses Produkts beträgt 45 ℃ . Bitte achten Sie bei der Verwendung auf die hohe Temperatur, bitte überschreiten Sie diesen Bereich nicht.

Warning - electrical shock -high voltage

Bright light hazard

Do not stare into beam!

Turn off the lamp before opening!

Use eye protection during servicing!

UV light hazard

Turn off the UV lamp before opening!

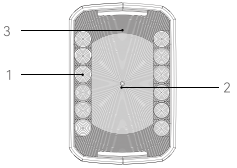
Use UV radiation eye and skin protection during servicing!

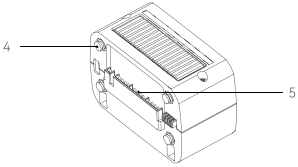
IR light hazard

Warning, hot surface!

Teilebezeichnung

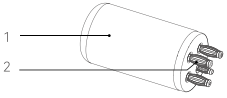
Lampenfassung mit gerader Leuchtröhre H200II

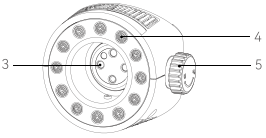


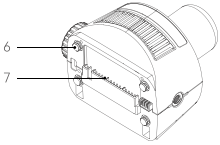


1. LED-Stylingleuchte
2. Blitzröhre
3. Optische Linsen
4. Verschluss der Lampenfassung
5. Bajonettsteckersitz der Lampenfassung

Lampenfassung mit blanker Leuchtröhre H200II

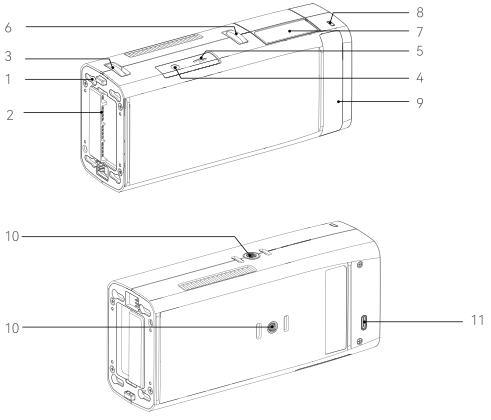




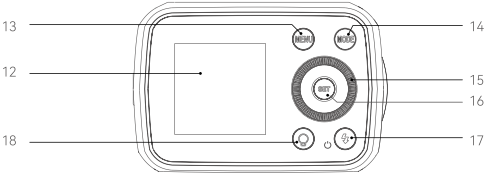


1. Leuchtröhre
2. Kontaktfuß der Leuchtröhre
3. Stecksitz der Leuchtröhre
4. LED-Stylingleuchte
5. Befestigungsknopf des Bajonetts
6. Verschluss der Lampenfassung
7. Bajonettsteckersitz der Lampenfassung

Körper

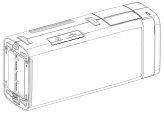


1. Lampenfassung und Verschlussloch
7. Bajonettbuchse der Lampenfassung
3. Ein-/Abbauklemme der Lampenfassung
4. 3,5mm-Synchronbuchse
5. Schnellaufladungsanschluss
6. Ein-/Abbauklemme der Batterie
7. Batterie
8. Gruppenanzeigeleuchte × 2
9. Lichtsteuerungsempfänger
10. 1/4"-Einbausloch
11. USB-C-Schnittstelle für Upgrade



12. Farbdisplay
13. MENÜ-Taste
14. MODE-Taste
15. Einstellwählscheibe
16. SET-Taste
17. Schalter/Testblitztaste
18. Stylingleuchtentaste

Stückliste



Leuchtkörper ×1



Akku ×1



Akkuschutzdecke × 1



Ladesitz × 1



PD-Ladegerät ×1



Datenkabel ×1



Lampenfassung mit gerader Leuchtröhre H200II ×1



Lampenfassung mit blanker Leuchtröhre H200JII ×1



Leuchtröhre ×1



Halterung AD-E2 ×1



Tragetasche ×1



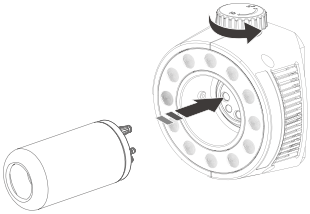
Anleitung × 1

Zusätzliches erhältbares Zubehör

PB960 Netzteilbox
Blitzauslöser der XPro-, XProII-, X2T-, X3-Serie;
H200R runder Lampenhalter, R200 Ringlampenhalter, AD-S200 Stablampenhalter, Die AD-B2 Doppellampenfassung, weicher Lichtkasten, Radom, faltbarer weicher Lichtschirm, Strahlrohr, Lampenhalter usw.

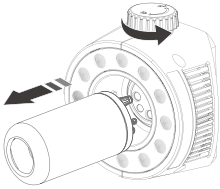
Einbau und Abbau von Leuchtröhren/Lampenfassungen/ Batterien

Einbau von Leuchtröhren: Drehen Sie den Bajonettbefestigungsknopf in Richtung ( ), bis der Knopf bis zum Endpunkt der Entriegelung gedreht ist. Setzen Sie den Lampenkontaktstift parallel zur Buchse ein und drehen Sie dann den Bajonettbefestigungsknopf in Richtung ( ), bis der Knopf bis zum Endpunkt der Verriegelung gedreht ist



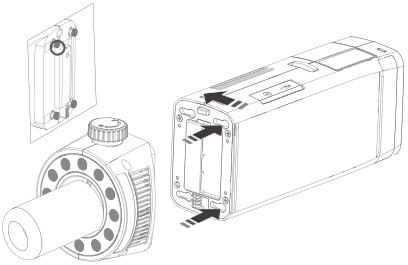
Hinweis: Die Kontaktfüße der Lampe haben drei dicke und einen dünnen Kontaktfuß, und die entsprechenden Buchsenlöcher haben drei große und ein kleines Loch. Der dünne Kontaktfuß muss mit der Buchse mit dem kleinen Loch ausgerichtet werden, damit die Lampe korrekt und problemlos eingesetzt werden kann.

Abbau von Leuchtröhren: Drehen Sie den Bajonettbefestigungsknopf in Richtung ( ), bis der Knopf am Ende der Entriegelung gedreht ist, und halten Sie die Leuchtröhre parallel.

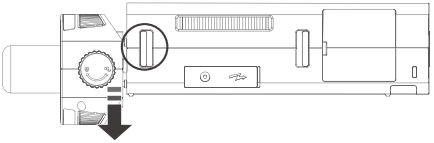


Hinweis: Tragen Sie immer Handschuhe, um die Sicherheit beim Ein- und Ausbau von Blitzröhren zu gewährleisten. In der schematischen Darstellung ist die blanke Röhrenlampenfassung H200JII separat von der Lampenfassung konzipiert. Diese Be- und Entlademethode gilt nur für die Montage der Lampenfassung mit blanker Röhre H200JII. Warten Sie nach dem Blitzen bitte, bis der Blitz abgekühlt ist, bevor Sie ihn abbauen.

Lampenfassung einbauen: Der Stecker des Bajonetts der Lampenfassung wird mit der Buchse des Bajonetts der Lampenfassung am Rumpf montiert, die Befestigungselemente werden mit den Befestigungslöchern ausgerichtet, und die Lampenfassung wird nach oben gedrückt, und die Ein-/Abbauklemme der Lampenfassung wird automatisch verriegelt, d. h. der Einbau ist abgeschlossen.

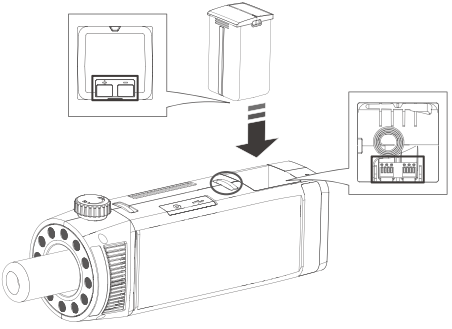


Lampenfassung abbauen: Halten Sie die Ein-/Abbauklemme der Lampenfassung fest, während Sie die Lampenfassungnach unten drücken. Die Lampenfassung ist vom Rumpf gelöst, d. h. der Abbau ist abgeschlossen.

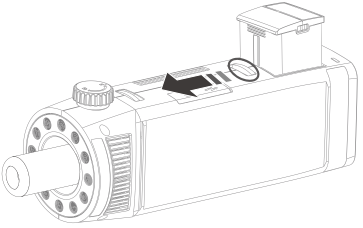


Hinweis: Die schematische Darstellung des Ein-/Abbaus der Lampenfassung nimmt die Lampenfassung mit blanker Röhre H200JII als Beispiel. Die Ein-/Abbauweise ist auch auf die Lampenfassung mit gerader Röhre H200II anwendbar.

Batterie einbauen: Halten Sie die Ein-/Abbauklemme der Batterie gedrückt, die Batterie ist auf die Metallkontakte im Batteriefach ausgerichtet und somit ist geladen. Ziehen Sie die Ein-/Abbauklemme der Batterie nach vorne, und der Einbau ist abgeschlossen, wenn Sie das "Klick" hören.



Batterie abbauen: Die Batterie kann aus dem Batteriefach entnommen werden, indem Sie die Batterie nach hinten drücken und mit einem "Klick" wird diese automatisch ausgeworfen.



Ein-/Ausschalten

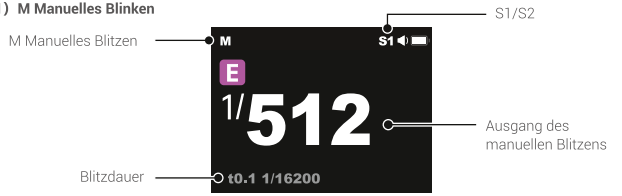
1. Halten Sie die Schaltertaste gedrückt und das Entsperrsymbol ( ) erscheint auf dem Bildschirm. Drehen Sie dann den Einstellknopf im Uhrzeigersinn, um ihn einzuschalten.

2. Halten Sie die Schaltertaste gedrückt und schalten Sie den Bildschirm aus.

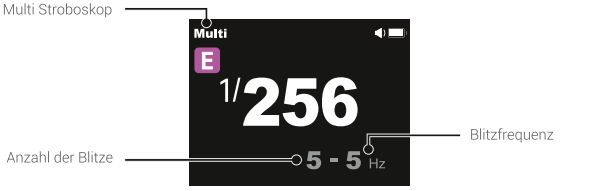
Hinweis: Bitte schalten Sie das Gerät aus, wenn es längere Zeit nicht verwendet wird. Dieses Produkt verfügt über eine automatische Energiesparfunktion. Sie finden die automatische Abschaltfunktion in der Menüleiste, um es einzustellen.

Display

(1) M Manuelles Blinken



(2 Multi Stroboskop



(3) TTL Automatisches Auslösen



Batteriehinweise

Eigenschaften

1. Dieses Produkt verwendet Lithiumbatterien, die 500-maliges wiederholtes Aufladen und Entladen unterstützen und eine lange Lebensdauer haben.
2. Der eingebaute Stromkreis ist sicher und zuverlässig und verfügt über einen Überladungsschutz, einen Überentladungsschutz, einen Überstromschutz und einen Kurzschlussschutz.
3. Mit dem Standardbatterieladegerät dauert die Ladezeit von schwacher Batterie bis voller Batterie nur etwa 1 Stunden.

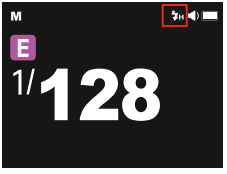
Hinweise

- ⚠ Vermeiden Sie positive und negative Kurzschlüsse.
- ⚠ Die Batterie ist nicht wasserdicht, tauchen Sie sie nicht in Nebel oder Wasser;
- ⚠ Die Batterie ist außerhalb der Reichweite von Kindern aufzubewahren.
- ⚠ Lassen Sie die Batterien nicht länger als 24 Stunden aufgeladen.
- ⚠ Batterien sollten an einem kühlen, trockenen und belüfteten Ort aufbewahrt werden.
- ⚠ Legen Sie Batterien nicht in die Nähe und in das Feuer;
- ⚠ Entsorgen Sie Batterien nach dem Verschrotten gemäß den örtlichen Vorschriften.
- ⚠ Wenn die Batterie länger als 3 Monate nicht verwendet wird, laden Sie sie bitte vollständig auf.

Hochgeschwindigkeitssynchronisation

Mit der Hochgeschwindigkeitssynchronisation (FP-Blitz) können Sie den Blitz synchron bei aller Verschlusszeit verwenden. Im HSS-Modus ist es besonders praktisch, die Blende zu verwenden, um zuerst das Porträt beim Blitzen nachzufüllen.

1. Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um das Menü aufzurufen. Drehen Sie das Wahlrad, um die HSS auszuwählen. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um ihn selektiv ein- oder auszuschalten. Drücken Sie nach der Einstellung kurz die MENU-Taste, um zur Hauptschnittstelle zurückzukehren. Die obere Statusleiste ist ( ) zu sehen.



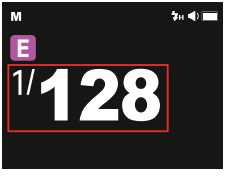
2. Blitzauslöser der XPro-, XProII-, X2T-, X3-Serie;

Hinweis:

- Wenn die Verschlusszeit gleich oder langsamer als die maximale Blitzsynchronisierungsgeschwindigkeit der Kamera eingestellt ist, wird < > nicht im Sucher angezeigt.
- Bei der Hochgeschwindigkeitssynchronisation gilt: Je höher die Verschlusszeit, desto kleiner die effektive Blitzreichweite.
- Um den normalen Blitz wiederherzustellen, gehen Sie in die Menüleiste, um die HSS-Funktion auszuschalten. Das Symbol < > im Hauptbildschirm verschwindet.
- Im Modus HSS kann der Stroboskop nicht eingestellt werden.
- Nach 50 aufeinanderfolgenden Hochgeschwindigkeitssynchronisationen kann die Wärmeschutzfunktion des Blitzes aktiviert werden.

M: manuelles Blitzen

Sie können die Blitzleistung im Gang von 0,1 zwischen 1/512 Leistung und 1/1 voller Leistung einstellen. Um die richtige Blitzbelichtung zu erhalten, verwenden Sie ein tragbares Blitzmessgerät, um die gewünschte Blitzleistung zu bestimmen. Drücken Sie kurz die MODE-Taste, damit der Bildschirm < **M** > anzeigt. Drehen Sie dann das Wahlrad, um die Blitzleistung einzustellen.



Blitzausgang anzeigen

Wenn die Blitzleistung während der Aufnahme geändert wird, zeigt die folgende Tabelle deutlich, wie der Blendenwert geändert wird. Sie können das Änderungsgesetz des Blendenwerts überprüfen, wenn Sie die Lichtleistung erhöhen oder verringern.
Drehen Sie das Wahlrad im Uhrzeigersinn, um die Blitzleistung zu erhöhen, und gegen den Uhrzeigersinn, um die Blitzleistung zu verringern.

1/512	1/512 (0.1 to 0.9)
1/256	1/256 (0.1 to 0.9)
1/128	1/128 (0.1 to 0.9)
1/64	1/64 (0.1 to 0.9)
1/32	1/32 (0.1 to 0.9)
1/16	1/16 (0.1 to 0.9)
1/8	1/8 (0.1 to 0.9)
1/4	1/4 (0.1 to 0.9)
1/2	1/2 (0.1 to 0.9)
1/1	(volle Leistung)

S1 Lichtsteuereinheit einstellen

Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um das Menü aufzurufen. Drehen Sie das Wahlrad, um den Blitzauslöser der Lichtsteuerung auszuwählen. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um unter AUS/S1/S2 zu wählen. Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um nach der Einstellung S1 zur Hauptschnittstelle zurückzukehren.
An dieser Stelle kann der Blitz als Zusatzlicht verwendet werden, um eine Vielzahl von Lichteffekten zu erzeugen, die für manuelle Blitzumgebungen geeignet sind. Es löst den Blitz mit der ersten Blitzsynchronisation des Hauptblitzes aus. Der Effekt ist konsistent mit der Verwendung eines drahtlosen Blitzes.

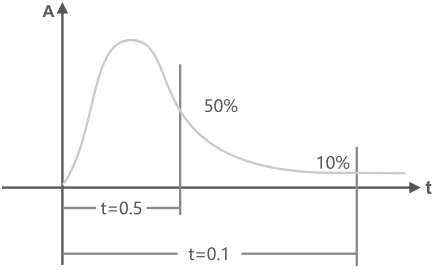
S2 Lichtsteuereinheit einstellen

Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um das Menü aufzurufen . Drehen Sie das Wahlrad, um den Blitzauslöser der Lichtsteuerung auszuwählen. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um unter AUS/S1/S2 zu wählen. Drücken Sie dann kurz die MENU-Taste, um nach der Einstellung S2 zur Hauptschnittstelle zurückzukehren.
Der Blitz kann nun als Zusatzlicht für TTL-Blitzumgebungen verwendet werden. Mit der Anti-Vorblitzfunktion kann mit der Lichtsteuerung über die Kamera mit Vorblitzfunktion eine synchrone Aufnahme erreicht werden. Es löst den Blitz synchron mit dem zweiten Blitz des Hauptblitzes aus, dh 2 lichtgesteuerte Blitze.

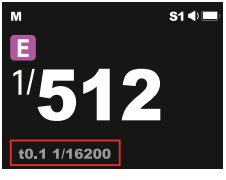
Anm.: S1/S2 lichtgesteuertes Blitzauslösen wird nur im M-Modus unterstützt.

Blitzdauer anzeigen

Die Blitzdauer ist die Zeitspanne vom Beginn des Blitzes bis zur Halbspitze des Blitzes. Die Halbspitze wird als t = 0,5 ausgedrückt. Um dem Fotografen detailliertere Aufnahmewerte zu liefern, verwendet dieses Produkt t = 0,1. Die folgende Abbildung zeigt den Unterschied zwischen t = 0,5 und t = 0,1.



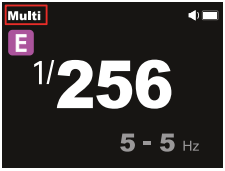
Hinweis: Die Blitzdauer wird nur angezeigt, wenn sich der M-Modus befindet und die HSS ausgeschaltet ist.



Multi: (Stroboskop)

Mit Stroboskopblitzen können Sie eine Reihe von schnellen Blitzen emittieren, die mehrere Bilder eines sich bewegenden Objekts auf einem einzigen Foto aufnehmen können. In den folgenden drei Schritten werden der Blitzausgang, die Anzahl der Blitze und die Blitzfrequenz (die Anzahl der Blitze pro Sekunde in Hz) eingestellt.

1. Drücken Sie kurz die MODE-Taste, damit der Bildschirm <**Multi**> anzeigt, und drehen Sie das Wahlrad, um die Blitzleistung einzustellen.
2. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um die Anzahl der Blitze einzustellen.
3. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um die Blitzfrequenz einzustellen.



Verschlusszeit rechnen

Während des Stroboskopblitzes sollte der Verschluss geöffnet bleiben, bis der Blitz stoppt. Verwenden Sie die folgende Formel, um die Verschlusszeit zu berechnen. Richten Sie sie dann mit Ihrer Kamera ein.

Anzahl der Blitze / Blinkfrequenz = Verschlusszeit

Wenn beispielsweise die Anzahl der Blitze 10 beträgt, beträgt die Blinkfrequenz 5 Hz und die Verschlusszeit mindestens 2 Sekunden

Hinweis:

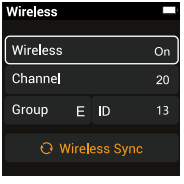
- Für Probanden mit starken Reflexionen ist es effektiver, Stroboskopblitze vor einem dunklen Hintergrund zu verwenden.
- Stativ und TTL-Blitz werden empfohlen.
- Das Blitzlicht kann nicht eingestellt werden, wenn der Blitzausgang 1/1 und 1/2 ist.
- "buLb" kann auch beim Stroben verwendet werden.
- Wenn die Anzahl der Blitze als -- angezeigt wird, blinkt der Blitz kontinuierlich, bis der Verschluss geschlossen oder die Batterie entladen ist. Wie in der folgenden Tabelle gezeigt, wird die Anzahl der Blitze begrenzt.

Maximale Anzahl vom Strobeskop

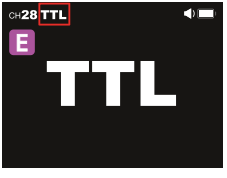
Hz / Blitzausgang	1	2	3	4	5	6-7	8-9	10	11	12-14	15-19	20-50	60-99
1/4	7	6	5	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2
1/8	14	14	12	10	8	6	5	4	4	4	4	4	4
1/16	30	30	30	20	20	20	10	8	8	8	8	8	8
1/32	60	60	60	50	50	40	30	20	20	20	18	16	12
1/64	90	90	90	80	80	70	60	50	40	40	35	30	20
1/128	90	90	90	90	90	90	80	70	70	60	50	40	40
1/256													
1/512													

TTL: Automatisches Blitzen

Im TTL-Modus erkennt das Lichtmesssystem der Kamera das vom Motiv reflektierte Blitzlicht und passt die Blitzleistung automatisch so an, dass Motiv und Hintergrund gleichmäßig belichtet werden. Rufen Sie das Menü auf, indem Sie kurz die MENU-Taste drücken. Um die drahtlose Funktion einzuschalten, stellen Sie die Gruppe auf eine von A bis E ein. Drücken Sie nach Abschluss der Einstellung zweimal auf das MENÜ, um zur Hauptschnittstelle zurückzukehren.



Ein kurzer Druck auf die MODE-Taste bewirkt, dass auf dem Bildschirm <TTL> angezeigt wird, wodurch der Blitz in den TTL-Modus wechseln kann.

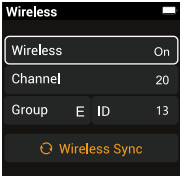


Funkübertragung (2,4G)

AD600Pro II verwendet ein 2,4G drahtloses X-System, das perfekt mit anderen Modellen unserer Fabrik kombiniert werden kann. Kompatible Kameras als Sklave-Einheiten sind Canon, Nikon, Sony, Olympus, Panasonic, Fujifilm, Pentax, Lycra usw., die automatisch entsprechend der Master-Steuereinheit ohne manuelle Einrichtung geschaltet werden.
Als Sklave-Einheit kann der AD200Pro II als Master-Steuergerät mit drahtloser Übertragungsfunktion gesteuert werden. Modelle: XPROII-Serie/X3-Serie/X1T-Serie/X2T-Serie/V1Pro-Serie/V1-Serie/V860III-Serie usw.

Einstellungen für Drahtlos

Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um das Menü aufzurufen. Drehen Sie das Wahlrad, um das drahtlose Gerät auszuwählen. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um den drahtlosen Schalter/Kanal/Gruppe/Identifikationsnummer/drahtlose Synchronisierung auszuwählen. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um eines der Elemente einzustellen. Drücken Sie nach der Einstellung kurz die MENU-Taste, um zum Menü zurückzukehren. Drücken Sie kurz die MENU-Taste erneut, um zum Hauptmenü zurückzukehren.





Kommunikationskanal einrichten

Wenn sich am Aufnahmestandort mehr als ein drahtloses Blitzsystem befindet, können Sie Signalstörungen verhindern, indem Sie den Kommunikationskanal ändern oder Identifikationsnummer festlegen. Stellen Sie jedoch sicher, dass die Mastereinheit und die Sklaveneinheit auf denselben Kanal eingestellt sind.

Drahtlos	EIN/AUS
Kanäle	1-32
Gruppe	0-9, A-F
ID	AUS, 1-99
Drahtlose Synchronisation	Drücken Sie kurz die SET-Taste für die drahtlose Synchronisierung

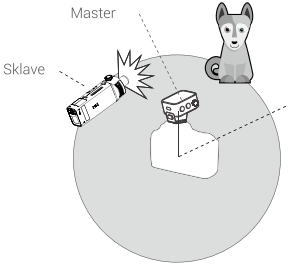
Für die Verwendung am Beispiel vom Blitzauslöser X3:

1. Schalten Sie die Kamera aus, stecken Sie den Blitzauslöser in die Blitzschuhbuchse der Kamera. Schalten Sie den Blitzauslöser-Netzschalter und das Netzteil der Kamera ein.
2. Einstellen vom Blitzauslöser X3: Schieben Sie den Bildschirm von oben nach unten, damit der Bildschirm <Einstellungen> anzeigt. Klicken Sie auf <Einstellungen>, um das benutzerdefinierte Menü aufzurufen. Klicken Sie auf Drahtloseinstellungen, um die Einstellungen für Kanal und Identifikationsnummer aufzurufen. Wischen Sie den Bildschirm von links nach rechts, um zur Hauptoberfläche zurückzukehren. In der Hauptoberfläche können Sie den Blitzmodus oder die Blitzleistungsgänge der Gruppe einstellen.
3. AD200Pro II Blitzlicht einstellen: Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um Drahtlos auszuwählen. Geben Sie die Drahtlos Einstellungen ein, um diese Funktion zu aktivieren. Stellen Sie den Kanal und die Identifikationsnummer so ein, dass sie mit dem Blitzauslöser übereinstimmen.
4. Klicken Sie im Blitz auf Drahtlos Sync. Wählen Sie Drahtlos Sync und drücken Sie dann kurz die SET-Taste, um den drahtlosen Kanal und die Identifikationsnummer beider Parteien auf die gleiche Nummer einzustellen.
5. Drücken Sie den Kameraverschluss, um einen Blitz auszulösen.

Fotografieren mit drahtlosem Blitzen

Positionierung und Bedienungsreichweite (am Beispiel für drahtlose Blitzaufnahmen)

- Eine Skaveneinheit für automatische Blitzaufnahmen verwenden



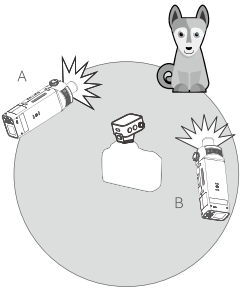
Die Übertragungsdistanz beträgt etwa 100m.

Hinweis:
1. Verwenden Sie das Master-Steuereinheit mit drahtloser Sendefunktion als Sendeseite.
2. Bitte testen Sie das Blinken und versuchen Sie mal das Aufnahmen, bevor Sie mit der Arbeit beginnen.
3. Unter dem Einfluss durch die Positionierung, Umgebung, Wetterbedingungen usw. kann die übertragungsdistanz kürzer sein.

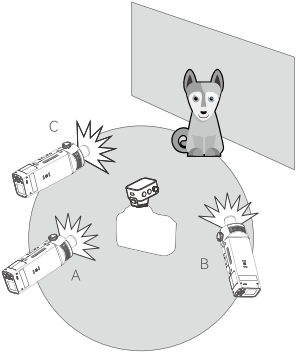
Fotografieren mit drahtlosem mehrem Blitzen

Sie können die Sklaveneinheit in zwei oder drei Gruppen unterteilen und automatische TTL-Blitzaufnahmen durchführen, während Sie das Blitzlichtverhältnis (Blitzleistungsrate) ändern. Darüber hinaus können Sie für jede Blitzlichtgruppe verschiedene Blitzmodi für die Aufnahme einstellen und verwenden.

- 2 Sklavengruppen für automatische Blitzaufnahmen verwenden



- 3 Sklavengruppen für automatische Blitzaufnahmen verwenden



Ursachen und Lösungen fürs Auslassen beim drahtlosen Blitzen bei Godox 2,4G

1. 2,4G-Signalstörungen in externer Umgebung (wie drahtlose Basisstationen, 2,4G wifi-Routing, Bluetooth-Geräte usw.)
→ Bitte passen Sie die Kanal-CH-Einstellung des Blitzauslösers an (empfohlen +10), suchen Sie einen nicht störenden Kanal, an dem Sie arbeiten können, oder schalten Sie andere 2,4G-Geräte während der Arbeit aus.

2. Bitte überprüfen Sie, ob der Blitz wieder bereit ist oder die Wiederbereitschaftsgeschwindigkeit mit der Geschwindigkeit der Serienaufnahmen Schritt gehalten hat und sich nicht in einem Überhitzungsschutz oder einem anderen abnormalen Zustand befindet
→ Bitte reduzieren Sie den Gang des Blitzes. Wenn es sich um den TTL-Modus handelt, können Sie versuchen, in den M-Modus zu wechseln (im TTL-Modus ist einmaliges Vorblinken erforderlich).

3. Ob Blinker und Blitz zu nahe sind (Abstand < 0,5m)
→ Schalten Sie den drahtlosen Nahfeldmodus auf dem Blitz ein:
X1-Serie: Halten Sie die Blitztaste gedrückt. Dann einschalten, bis die Kontrollleuchte zweimal blinkt.
Xpro, X2T-Serie: C.Fn-DIST auf 0-30m einstellen.
X3-Serie: Stellen Sie den Blitzabstand auf 0-30 m ein.

4. Ob sich der Blitzauslöser und das Empfangsgerät in einem niedrigen Leistungszustand befinden
→ Bitte tauschen Sie die Batterie oder den Ladegriff aus, um sicherzustellen, dass der Blitzauslöser und das Blitzgerät vollständig aufgeladen sind.

Blitzmodus

Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um das Menü aufzurufen. Drehen Sie das Wahlrad, um den Blitzmodus auszuwählen. Drücken Sie dann kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um Standard / Farbtemperatur auszuwählen.

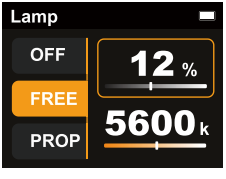
Wahl	Blitzmodus	Anleitung
Standard	Standardblitzen	Keine Anweisungen auf der Hauptschnittstelle
Fabetemperatur	Konstante Farbtemperatur	Das Symbol erscheint auf der Hauptschnittstelle (©)

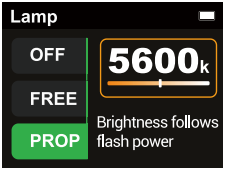
Die Farbtemperatur ist konstant. Nach dem Einschalten erscheint ein Symbol (©) auf der Hauptoberfläche. Die Gruppenanzeige blinkt und der Summer klingelt eine Minute lang, wenn er eingeschaltet wird. Die konstante Farbtemperatur wird nur unterstützt, wenn der M-Modus ausgeschaltet und die HSS eingeschaltet ist. Nach dem Einschalten dieser Funktion beträgt die Schwankung des Vollfarbtemperaturgetriebes etwa ± 100K.

Stylingleuchte

Der AD200Pro II ist mit einem zweifarbigen LED-Stylingleuchte hoher Leistung ausgestattet. Drücken Sie kurz die Stylingleuchtentaste, um die Einstellungen aufzurufen. Drehen Sie das Drehrad, um ein- / ausgeschaltet bzw. befolgt zu werden. Drücken Sie einfach die SET-Taste und drehen Sie das Einstellrad, um eine der Einstellungen vorzunehmen. Nachdem die Einstellung abgeschlossen ist, drücken Sie einfach die Stylingleuchtentaste, um zur Hauptoberfläche zurückzukehren.

Hinweis: Halten Sie die Stylingleuchtentaste gedrückt, um die Stylingleuchte ein-/auszuschalten.





AUS	Helligkeit (in 1 % -Schritten)	Farbtemperatur (in 100K-Schritten)
EIN	10%~100%	2800K-6000K
FOLGEN	Die Helligkeit verfolgt die Blitzleistung	2800K-6000K

Benutzerdefinierte Funktionen

Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um die Menüoberfläche aufzurufen. Wählen Sie einen Punkt im Menü aus, indem Sie das Wahlrad drehen. Drücken Sie kurz die SET-Taste und drehen Sie das Wahlrad, um den Punkt einzustellen. Drücken Sie kurz die MENU-Taste, um nach der Einstellung zurückzukehren.

Symbol	Funktionen	Option	Anleitung
	Drahtlos	AUS	Drahtlos-Einstellung schließen
		EIN	Kommunikationskanal einrichten
	Blitzmodus	Standard	Standardblitzen
		Fabetemperatur	Einschalten im M-Nicht-HSS-Modus möglich
	Lichtgesteuertes Blitzauslösen	AUS	Blitzauslösen durch Lichtsteuerung ausschalten
		S1	Einschalten im M-Modus möglich
		S2	
	Hochgeschwindigkeitssynchronisati	AUS	HSS ausschalten
		EIN	Einschalten im M-Modus möglich
	Stylingleuchten	Blinken und Erlöschen	Wiederbereitschaftsanzeige des Blitzlichts erlischt
		Dauer	Dauerlicht
	Summer	AUS	Summer AUS
		EIN	Summer EIN
	Leistungsanzeige	1/512	Der Blitzgang des Geräts in Nicht-HSS-Modi wird als 1/512-1/1 angezeigt.
		1.0	Der Blitzgang des Geräts in Nicht-HSS-Modi wird als 1,0-10,0 angezeigt.
	Bildschirm ím Standby	30 Sekunden	Keine Bedienung für mehr als 30 Sekunden geht der Bildschirm in den Ruhezustand
		1 Min.	Keine Bedienung für mehr als 1 Minute, dann geht der Bildschirm in den Ruhezustand.
		2 Min.	Keine Bedienung für mehr als 2 Minuten, dann geht der Bildschirm in den Ruhezustand.
		3 Min.	Keine Bedienung für mehr als 3 Minuten, dann geht der Bildschirm in den Ruhezustand.
	Automatische Abschaltfunktion	AUS	Auto. Herunterfahren deaktivieren
		30 Min.	Automatische Abschaltung nach 30 Minuten
		60 Min.	Automatische Abschaltung nach 60 Minuten
		90 Min.	Automatische Abschaltung nach 90 Minuten
		120 Min.	Automatische Abschaltung nach 30 Minuten

	Bildschirmhelligkeit	20%~100%	Helligskeitswert mit Wahlrad einstellen
	Verzögertes Blitzen	AUS	Verzögertes Blitzen ausschalten
		0,01-30,0 Sek.	In Schritten von 0,01 Sek.
	Schablone	2 Schablone	Einstellung des Wahlrads
		3. Sortierung	
		4. Sortierung	
	Sprache	Chinesisch	Die Schriftart in der Benutzeroberfläche wird auf Chinesisch angezeigt
		English	Die Schriftart in der Benutzeroberfläche wird auf Englisch angezeigt
	Wiederherstellen der Werkseinstellungen	Ja	Wiederherstellen der Werkseinstellungen
		Nein	Wiederherstellen der Werkseinstellungen abbrechen
	Gerätsdaten	Ohne Option	Anzeige des aktuellen Maschinenmodells und der Versionsnummer

Auslösen durch Synchronisationsbuchse

Die Spezifikation der Synchronbuchse ist Φ3,5mm, hier kann ein Synchronkabel eingesteckt oder mit dem Auslösestecker ausgelöst werden, damit der Blitz synchron blinkt.

Schnellaufladeanschluss

Der Zugriff auf die separat erworbene PB960-Netzteilbox am Schnellladeanschluss erhöht die Wiederbereitschaft erheblich und kann als andere Stromversorgungsmethode verwendet werden, die Batterie kann jedoch nicht geladen werden.

Hinweis: Der Farbtemperaturmodus kann nicht verwendet werden, wenn die externe Netzteilbox (PB960) verwendet wird.

Schutzfunktionen

1. Wärmeschutz

- Um zu verhindern, dass der Blitzkopf überhitzt und beschädigt wird, führen Sie nicht mehr als 100 schnelle Dauerblitze im 1/1-Gang durch. Lassen Sie den Blitz nach 100 aufeinanderfolgenden Blitzen mindestens 10 Minuten abkühlen.
- Wenn Sie unmittelbar nach Eingabe des Dauerblitzes mehr als 100 Mal weiterblinken, kann die interne Überhitzungsschutzfunktion aktiviert werden, so dass sich die Rückrufzeit auf mehr als 10 Sekunden ändert. Wenn dies geschieht, lassen Sie den Blitz etwa 10 Minuten abkühlen und er wird wieder normal.
- Wenn der Wärmeschutz aktiviert ist, wird das Symbol < > auf dem Display angezeigt

Anzahl der aufeinanderfolgenden Blitze des aktivierten Wärmeschutzes:

Leistung	Anzahl der Male (Lampenfassung mit gerader Leuchtröhre H200II)	Anzahl der Male (Lampenfassung mit blanker Leuchtröhre H200JII)
1/1	50	60
1/2(+0.7 ~ +0.9)	62	80
1/2(+0.3 ~ +0.6)	75	100
1/2(+0.0 ~ +0.2)	93	120
1/4(+0.0 ~ +0.9)	125	150
1/8(+0.0 ~ +0.9)	250	260
1/16(+0.0 ~ +0.9)	375	400
1/32(+0.0 ~ +0.9)	625	750
1/64(+0.0 ~ +0.9)	1250	1500
1/128(+0.0 ~ +0.9)	2500	3000
1/256(+0.0 ~ +0.9)	3750	6000
1/512(+0.0 ~ +0.9)		

Anzahl der aufeinanderfolgenden Blitze des aktivierten Überhitzungsschutzes während der Hoch geschwindigkeitssynchronisation:

Leistung	Anzahl der Male (Lampenfassung mit gerader Leuchtröhre H200II)	Anzahl der Male (Lampenfassung mit blanker Leuchtröhre H200JII)
1/1	40	50
1/2(+0.0 ~ +0.9)	75	80
1/4(+0.0 ~ +0.9)	93	100
1/8(+0.0 ~ +0.9)	125	136
1/16(+0.0 ~ +0.9)	187	200
1/32(+0.0 ~ +0.9)	230	250
1/64(+0.0 ~ +0.9)		
1/128(+0.0 ~ +0.9)		

2. Sonstige Schutzfunktionen

Um den sicheren Betrieb des Geräts zu gewährleisten, führt das System immer einen präventiven Schutz durch. Die folgenden Aufforderungssymbole dienen als Referenz:

Anzeige am Display	Warnungsinhalte
Error1	Es gibt ein Problem mit dem Wiederbereitschaftssystem. Die Wiederbereitschaft kann nicht ausgelöst werden. Bitte schalten Sie ihn wieder ein. Wenn er nicht gelöst werden kann, reparieren Sie ihn bitte
Error3	Die Spannung an beiden Enden der Blitzröhre ist zu hoch. Bitte reparieren Sie sie
Error9	Fehler beim Firmware-Upgrade, bitte führen Sie ein korrektes Firmware-Upgrade durch

Technische Daten

Modell	AD200ProII
Drahtloser Sklave-Einheitsmodus	Funkmodus (kompatibel mit Canon E-TTL II, Nikon i-TTL, Sony, Olympus, Panasonic, Fujifilm usw.)
Blitzmodus	Drahtlos AUS: M/Multi
	Drahtloser Sklavenmodus: TTL/M/Multi
Index der Blitze (Gang 1/1)	Lampenfassung mit gerader Leuchtröhre H200II: GN52 (mISO100, @35mm)
	Lampenfassung mit blanker Leuchtröhre H200JII: GN60 (mISO100, mit AD-S2 Standardreflektorabdeckung, @28mm)
Blitzdauer t0,1 (ca.)	Lampenfassung mit gerader Leuchtröhre H200II: 1/272 Sek.~1/23500 Sek.
	Lampenfassung mit blanker Leuchtröhre H200JII: 1/252 Sek.~1/16200 Sek.
Leistung (1/1 Gang)	200Ws
Gänge	Stufe 10: 1/512 ~ 1/1 (0,1 inkrementelle Feinabstimmung unter jedem Gang)
Stroboskopblitz	Ausgestattet (Anzahl: 90 mal; Frequenz: 99 Hz)
Blitzbelichtungskorrektur (FEC)	Einstellbar in der verwendeten 2,4G-Fernbedienung
Synchronisationsweise	Hochgeschwindigkeitssynchronisation (bis zu 1/8000 Sekunden), Synchronisation des vorderen Vorhangs, Synchronisation des hinteren Vorhangs
Verzögertes Blitzauslösen	0,01~30 Sek.
Schablone	√
Lüfter	√
Summer	√
Blitzdauer anzeigen	√
Model- Stylingleuchte (LED)	√
Lichtgesteuertes Blitzauslösen	S1/S2/OFF
Anzeige	Farbbildschirm
Betriebsumgebungstemperatur	Max. 45°C
Drahtloses Blitzen (2,4G Drahtlos)	
Drahtlose Funktionen	Sklaveneinheit/AUS
Es kann Sklaveneinheitengruppen steuern	16 Gruppen: 0-9, A-F
Übertragungsabstand	Ca. 100m
Kanäle	32 Gruppen: 1-32
ID Identifikationsnummer	01-99/OFF
Netzteil	
Netzteil	Lithiumbatterie (14,4V/2980mAh)
Blitzanzahl bei Vollleistung	500 Mal
Wiederbereitschaftszeit	Ca. 0,01~1,8 Sek.
Energiesparung	Das Blitzlicht kann so eingestellt werden, dass er sich automatisch ausschaltet, wenn er 30-120 Minuten lang unbeaufsichtigt ist

Auslöseweise durch Synchronisation	3,5mm Sync-Kabel
Farbtemperatur der Blitzröhre	5800±200K
Blitzmodus (Farbtemperatur)	Farbtemperaturmodus einschalten, Farbtemperaturgangschwankung im gesamten Bereich beim Blitzen ± 100K
Abmessungen und Gewicht	
Dimension des Gesamtgeräts (Lampenfassung mit blanker Leuchtröhre J200II mit Leuchtröhre, Batterie)	≈260mm*90mm*79mm
Nettogewicht des Gesamtgeräts (Lampenfassung mit blanker Leuchtröhre J200II mit Leuchtröhre, Batterie)	≈0,99kg
Dimension des Gesamtgeräts (Lampenfassung mit gerader Leuchtröhre H200II, Batterie)	≈210mm*78mm*52mm
Nettogewicht des Gesamtgeräts (Lampenfassung mit gerader Leuchtröhre H200II, Batterie)	≈0,9kg

Firmware-Upgrade

- Dieses Gerät kann über den USB-C-Anschluss (Firmware-Upgrade) mit Firmware aktualisiert werden, und die neuesten Softwareankündigungen und Anweisungen werden auf der offiziellen Webseite veröffentlicht.
- Dieses Produkt wird nicht mit einem USB-Kabel zum Upgrade geliefert, bitte kaufen Sie es separat. Die USB-Schnittstelle dieses Produkts ist eine USB-C-Schnittstelle, bitte verwenden Sie ein USB-C-Kabel.
- Für die Produktupgrade-Firmware ist die Unterstützung der Godox G3-Programmsoftware erforderlich. Bitte laden Sie bei der offiziellen Godox-Webseite die "Godox G3-Firmware-Upgrade-
- Software" herunter. Installieren Sie sie, bevor Sie die Firmware aktualisieren. Wählen Sie dann die entsprechende Firmware-Datei aus.
- Aufgrund des Firmware-Upgrades des Produkts beachten Sie bitte die neueste elektronische Version des Handbuchs.

Wartung und Pflege

- Wenn der Blitz in Betrieb ist und eine Anomalie festgestellt wird, muss die Stromversorgung sofort abgeschaltet werden, um die Ursache zu ermitteln.
- Der Leuchtenkörper sollte Vibrationen vermeiden und auf die Entfernung von Oberflächenstaub achten.
- Leichte Erwärmung des Lampenkörpers ist normal, blinken Sie nicht kontinuierlich, wenn kein besonderer Bedarf besteht.
- Alle Reparaturen des Blitzlichts liegen in der Verantwortung der vom Werk benannten Wartungsabteilung, die Originalzubehör zur Verfügung stellt.
- 1-jährige Garantie, Verbrauchsmaterialien wie Leuchtkörper usw. fallen nicht unter die 1-jährige Garantie.
- Wenn festgestellt wird, dass der Blitz unbefugt inspiziert wird, wird die einjährige Garantiezeit des Blitzes storniert. Die entsprechenden Wartungsgebühren werden in Rechnung gestellt.
- Wenn dieses Produkt eine Fehlfunktion aufweist oder nass wird, kann es vor dem Gebrauch von einem Fachmann repariert werden.
- Technische Änderungen sind ohne Vorankündigung vorbehalten.

製品の修理保証

ご使用者様、本修理保証カードは修理保証の申請用の重要な証明書でございます。販売店にご協力いただき、ご記入とご保管ください。ありがとうございます。

製品情報	型号	製品のバーコード
ご使用者情報	名前	電話番号
	連絡先	
販売店情報	名称	
	電話番号	
	連絡先	
	販売日期	
備考欄		

本表は販売店より捺印が必要。

適用な製品

本書類は『製品修理保証情報』（後記の説明をご覧ください。）に関する製品シリーズに適用して、そのほかの本範囲に属していない製品あるいは部品（セール品、贈り物、ほかの出荷後の添付した部品等）はこの修理保証承諾に属していません。

修理保証期間

製品及び関連部品との修理保証期間は『製品修理保証情報』で実施します。修理保証期間は製品を初めて購入するときから数えて、購入日は購入するときに修理保証カードで記入された日期を基準とします。

修理保証サービスの獲得方法

修理保証サービスを要求したら、直接に製品の販売店または授権されたサービス機構と連絡できます。神牛のアフターサービスに電話をかけることもできます。我々のサービス員はサービスを手配します。修理保証を申請するときには、証明書として有効的な修理保証カードを提供して修理保証が得ることができます。有効的な修理保証カードを提供できないなら、我々は製品または部品が修理保証範囲に属することを確認したうえ、修理保証サービスも提供できますが、それはわれわれの義務となりません。

修理保証に適用しない場合

もし製品は以下の状況があるなら、本書類で記入された保証とサービスに適用しません。①製品または部品は相応な修理保証期間に超えること；②正しくなくて使用、メンテナンス、保管によって故障や損壊を起こすこと。例えば：不適当に運搬；製品の合理的な予期の用途で使用しないこと；不適当に外部設備を挿したり抜いたりすること; 落ちることや押しつぶすこと; 不適当な温度、溶剤、Ph、湿っぽい環境の中に置くこと; ③神牛が授権されていない機構または整備員より取り付けたり、修理したり、変更したり、添付したりしたり分解したりすることで起こした故障と損壊；④製品または部品のもともとの標識マークが修正し変更されたり、削除されたりすること；⑤修理保証カードがないこと；⑥非合法な授権、標準街、公開されていなくて発行するソフトウェアなどを使用して起こした故障や損壊；⑦不可抗力や事故で起こした故障や損壊；⑧ほかの製品自体で起こした故障や損壊ではないこと。上述の状況であれな、関連の責任者と解決対策を求めてください。我々はそれに対していかなる責任を持ちません。修理保証期間外や修理保証範囲外での部品、付属品、ソフトウェアなどで使用しなくなることについて、修理保証範囲内の故障ではありません。使用中、製品の正常的な脱色、摩耗と消耗は修理保証範囲内の故障ではありません

製品の修理保証とサービスサポートとの情報

製品の修理保証期間とサービスタイプとは『製品修理保証情報』によって実施します。

製品類別	オプションの名称	修理保証期間	修理保証サービスの類型
部品	電気回路基盤	12	顧客より修理出し
	電池	3	顧客より修理出し
	充電器などの帯電性能の部品	12	顧客より修理出し
そのほか	フラッシュチューブ、造形の電球、ケース、保護カバー、ロック装置、包装等	なし	修理保証なし

神牛製品のアフターサービス電話番号：0755-29609320-8062

Produktgarantie

Sehr geehrter Kunde, diese Garantiekarte ist ein wichtiger Garantienachweis. Bitte füllen Sie sie gemeinsam mit dem Verkäufer aus und bewahren Sie sie an einem sicheren Ort auf, vielen Dank!

Informationen zum Produkt	Modellnummer	Produkt-Barcode
Benutzerinformationen	Name	Tel.
	Postanschrift	
Verkäuferinformationen	Name	
	Tel.	
	Postanschrift	
	Datum des Verkaufs	
Anmerkung		

Anwendbare Produkte

Dieses Dokument gilt für Produkte, die in den entsprechenden Produktgarantieinformationen aufgeführt sind (siehe Anweisungen später) und andere Produkte oder Komponenten, die nicht teil dieses Bereichs sind (z. B. Werbeartikel, Werbegeschenke und andere werksseitige Teile usw.), fallen nicht unter diese Garantieverpflichtung.

Gewährleistungsfrist

Die entsprechende Garantiezeit für Produkte und Komponenten basiert auf den entsprechenden Produktgarantieinformationen. Die Gewährleistungsfrist beginnt mit dem Datum des ersten Kaufs des Produkts, und das Datum des Kaufs ist das Datum der Registrierung der Garantiekarte zum Zeitpunkt des Kaufs.

Wie erhalten Sie einen Garantieservice

Um den Service zu garantieren, können Sie sich direkt an den Produktverkäufer oder die autorisierte Serviceagentur wenden oder uns unter der Kundendienst-Telefonnummer der Shenniu-Produkte anrufen, und unser Servicepersonal kann den Service für Sie arrangieren. Wenn Sie eine Garantie beantragen, sollten Sie eine gültige Garantiekarte als Garantienachweis vorlegen, falls Sie diese erhalten. Wenn Sie keine gültige Garantiekarte vorlegen können, können wir Ihnen auch eine Garantie gewähren, wenn wir bestätigen können, dass das Produkt oder Teil von der Garantie abgedeckt ist, aber dies ist nicht unsere Verpflichtung.

Umstände, bei denen die Garantie nicht gilt

Die Gewährleistungen und Dienstleistungen gemäß diesem Dokument gelten nicht ① das Produkt oder Teil überschreitet die entsprechende Garantiezeit, wenn das Produkt den folgenden Bedingungen unterliegt; ② Ausfall oder Beschädigung durch unsachgemäße oder unsachgemäße Verwendung, Wartung oder Verwahrung, wie unsachgemäße Handhabung; Nicht zur Verwendung für den vernünftigerweise vorgesehenen Zweck des Produkts; Unsachgemäßes Einstecken externer Geräte; Drop oder externe Kraftdrücken; Exposition gegenüber ungeeigneten Temperaturen, Lösungsmitteln, Säuren, Laugen, Überschwemmungen oder feuchten Umgebungen; ③ Ausfall oder Beschädigung durch Installation, Reparatur, Änderung, Ergänzung oder Entfernung durch eine nicht-Shenniu autorisierte Stelle oder Person; ④ Die ursprünglichen Identifikationsinformationen des Produkts oder Teils werden geändert, geändert oder entfernt; ⑤ Keine gültige Garantiekarte; ⑥ Ausfall oder Beschädigung durch die Verwendung von Software, die nicht gesetzlich zulässig, nicht standardmäßig oder öffentlich vertrieben ist; ⑦ Ausfall oder Beschädigung durch höhere Gewalt oder Unfall; ⑧ Sonstige Ausfälle oder Schäden, die nicht durch Qualitätsprobleme mit dem Produkt selbst verursacht
wurden. In den oben genannten Fällen sollten Sie eine Lösung von der zuständigen Partei suchen, für die Shen Niu nicht verantwortlich ist. Wenn das Produkt aufgrund von Teilen, Zubehör oder Software, die nicht unter die Garantie oder Garantie fallen, nicht ordnungsgemäß funktioniert, ist es kein Fehler, der von der Garantie abgedeckt ist. Normale Verfärbung, Verschleiß und Verbrauch während der Verwendung des Produkts ist kein Fehler, der durch die Garantie abgedeckt wird.

Produktgarantie- und Service-Support-Informationen

Die Gewährleistungsfrist und die Art der Dienstleistung des Produkts erfolgen gemäß den folgenden Produktgarantieinformationen:

Produktkategorie	Komponentenname	Garantiezeit (Monate)	Art der Garantieleistung
Komponente	Leiterplatte	12	Kundenreparatur
	Batterie	3	Kundenreparatur
	Ladegerät und andere Teile mit Live-Performance.	12	Kundenreparatur
Sonstig	wie Blitzröhre, Modellierbirne, Schale, Schutzhülle, Verriegelung, Verpackung usw.	Nein	Keine Garantie

Shen niu Produkte After-Sales-Service Telefon 0755-29609320-8062